

科目名	日本国憲法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	福田 達也	関連する資格		

授業概要

本講義では、近代憲法の歴史と基本原理、および日本国憲法の概要を、総論・人権・統治機構の三領域において理解する。また、憲法を学ぶことを通じて、個人と地域社会・国家・国際社会との関係のあり方を考える。憲法の役割は、不動の普遍的理念とは異なって、時代状況に応じて刻々と変化するものである。アクチュアルな内外の社会状況に照らしながら、いま、憲法には、なにが求められているかについて考察する。

到達目標

ナンバリング(J2107a)

- 1 立憲主義の理念や歴史を理解することができる。
- 2 日本国憲法の成立過程について理解することができる。
- 3 基本的人権の歴史と現状について理解することができる。
- 4 日本の統治機構システムについて理解することができる。

成績評価方法

定期試験、提出物(レポート等)により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 【第1回】法とは何か（1） 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
2) 【第2回】法とは何か（2） 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
3) 【第3回】憲法の意義 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
4) 【第4回】日本国憲法の基本原理 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
5) 【第5回】国民主権と統治機構（1） 国会と内閣の役割 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
6) 【第6回】国民主権と統治機構（2） 裁判所の役割 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
7) 【第7回】平和主義 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
8) 【第8回】基本的人権（1）包括的人権 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
9) 【第9回】基本的人権（1）精神の自由 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
10) 【第10回】基本的人権（2）精神の自由 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
11) 【第11回】基本的人権（3）人身の自由 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
12) 【第12回】基本的人権（4）経済的自由 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
13) 【第13回】基本的人権（5）社会権 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
14) 【第14回】基本的人権（6）その他の権利と国民の義務 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
15) 【第15回】基本的人権（7）グループワーク：人権について考えよう 予習 教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 復習 講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	人権問題をテーマに、グループに分かれて報告会を実施
授業外学習	
予習 教科書や配布資料の該当箇所を読んでおく。分からない文言等は調べておくこと。 復習 講義内容に関するまとめの小テストを配付するので、次回の講義で提出すること。 ・講義の中で時事問題を扱うことがあるため、テレビや新聞でニュースを確認しておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「いちばんやさしい憲法入門〔第6版〕」初宿正典，高橋正俊，米沢広一，棟居快行（有斐閣アルマ、2020）	

課題に対するフィードバック

備考

科目名	健康スポーツ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実技	選択	1	1年	前期			
担当者名	和田 康夫		関連する資格	幼稚園教諭二種免許・保育士資格 健康スポーツ の いずれか1単位以上必修			
授業概要 子どもの取り巻く環境は、大きく変化してきており、体を動かす習慣が次第に失われ、運動する子どもとしない子どもの二極化が社会問題になっているといっても過言ではない。体を動かすことによって、健康や体力の保持増進に限らず、コミュニケーション能力などのこころの発達にも大きな影響をもたらすことを指導者が理解しておくことは重要なこととなる。本授業では、幼児期からの運動遊びやスポーツを窓口に、自らスポーツを楽しむだけにとどまらず、スポーツや運動遊びの効果について学ぶ機会とする。							
到達目標 J1118ab ・幼児期からの運動習慣の必要性を理解し、創造的に運動遊びやスポーツを積極的に行おうとする関心や態度をもてるようにする。 ・仲間とともにスポーツをする楽しさを味わい、遊びのアレンジについて理解する。 ・多様な動きのある運動遊びの実践を通して学び、仲間と一緒にアレンジしていくことで、スポーツの楽しさを味わう。			成績評価方法 ・授業内レポート ・授業外レポート ・運動遊びのプレゼンテーション ・授業への参加態度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（受講上の留意点・授業計画・評価方法など） 復習：授業の流れや目標について理解する。(30分) 予習：スポーツやACPの意義について調べる。(30分)	
2) ACPの実践（アイスブレイキング・新聞紙など） 復習：ACPの理論と実践について、ふりかえりシートに記入(30分) 予習：ソフトバレーボールの基本ルールについて調べる(30分)	
3) ACPの実践（鬼遊び・ボールを使って）ソフトバレーボール 復習：ふりかえりシートの記入(30分) 予習：ソフトバレーボールの反則となるルールを調べる。(30分)	
4) ACPの実践（ボールを使って・ケンパ）ソフトバレーボール 復習：ふりかえりシートの記入(30分) 予習：ソフトバレーボールの練習方法を調べる。(30分)	
5) ACPの実践（ボールを使って・ジャンケン）ソフトバレーボール 復習：ふりかえりシートの記入(30分) 予習：バドミントンの基本ルールを調べる。(30分)	
6) ACPの実践（用具を使って）バドミントン 復習：ふりかえりシートの記入(30分) 予習：バドミントンのスキルについて調べる。(30分)	
7) ACPの実践（投力・バランス）バドミントン 復習：ふりかえりシートの記入(30分) 予習：サッカーのルールを調べる。(30分)	
8) ACPの実践（新聞紙）バドミントン 復習：ふりかえりシートの記入(30分) 予習：障がい者スポーツ（パラスポーツ）について調べる。(30分)	
9) ACPの実践（風船）障がい者スポーツ（風船バレー・ポッチャ・ペタンク） 復習：ふりかえりシートの記入(30分) 予習：人間関係づくりについて、その種類や行い方を調べる。(30分)	
10) 人間関係づくり（PA）障がい者スポーツ（風船バレー・ポッチャ・ペタンク） 復習：ふりかえりシートの記入(30分) 予習：ACPの指導するにあたっての留意点をまとめる。(30分)	人間関係づくりプログラム
11) ACP教室の指導案づくりに役立つ実践 復習：ふりかえりシートの記入(30分) 予習：ACP教室プログラム作成(30分)	ACPの模擬授業指導案作成
12) ACP教室：幼児対象のACPを企画し、模擬指導を行う 復習：指導についての気づきなどを記入する。(30分)	ACPの模擬授業
13) ACP教室：幼児対象のACPを企画し、模擬指導を行う 復習：指導についての気づきなどを記入する(30分)	ACPの模擬授業
14) ACP教室：幼児対象のACPを企画し、模擬指導を行う 復習：指導についての気づきなどを記入する(30分)	ACPの模擬授業
15) ACPの理論と実践のまとめ 復習：授業の取組についてふりかえる。(30分)	ACPの模擬授業
授業外学習	
遊びのアレンジを实践しておきましょう。 ACP普及講習会（6月）やACP教室に参加してみましょ。う。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
ACPガイドブック（JSPPO編）	健康スポーツ

課題に対するフィードバック

備考

科目名	健康スポーツ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実技	選択	1	1年	後期
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許・保育士資格 健康スポーツ のいずれか1単位以上必修	

授業概要

スポーツは私たち人間にとって、肉体的にも精神的にもさらに、人との繋がり、仲間づくりといったコミュニケーションの促進にも有益であると言われている。
本講義では、「だれもが、いつでも、どこでも、気軽に参加できる」スポーツをテーマに、競うことよりも楽しむことを主としたニュースポーツ（ニュー・コンセプチュアル・スポーツ）を仲間と共に楽しみ、健康な心とからだづくりのための生涯スポーツのあり方について考えることを目的とする。

到達目標

J1119ab
M1119

- ・準備から後片付けに至るまで、何事にも主体的に取り組むことができる。
- ・他の受講生にも、積極的に関わりをもち、からだを動かす楽しさや心地よさを仲間と共に共有することができる。
- ・健康で、豊かな生活が送れるよう、生涯を通じて楽しく、心地よくスポーツ活動を実践するための方法を見つける。

成績評価方法

- ・授業内レポート（ふりかえりシート）
 - ・授業外レポート
 - ・授業態度・参加度（服装、身だしなみ等含む）
 - ・プレゼンテーション
（スポーツ大会グループごとに企画）
- 以上を総合的に評価をする

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（授業計画・授業評価等について） 【予習】シラバスを熟読する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
2) インディアカ 【予習】インディアカのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
3) ソフトバレーボール 【予習】ソフトバレーボールのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
4) フリーテニス 【予習】フリーテニスのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
5) シャッフルボード・ペタンク・フライングディスク 【予習】ペタンクのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
6) キンボール 【予習】キンボールのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
7) フライングディスク（アルティメット） 【予習】アルティメットのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
8) ユニバーサルホッケー 【予習】ユニバーサルホッケーのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
9) チャレンジ・ザ・ゲーム 【予習】チャレンジ・ザ・ゲームについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
10) 野外でのスポーツ活動 【予習】ウォークラリーについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
11) 野外でのスポーツ活動 【予習】ウォークラリーについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
12) 野外でのスポーツ活動 【予習】ウォークラリーについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
13) スポーツ大会の企画 【予習】スポーツ大会企画、及びプレゼンテーションを考える（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
14) スポーツ大会の企画 【予習】チームで勝つための練習を考える（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
15) スポーツ大会・授業のまとめ「生涯を通じて楽しく、心地よくスポーツ活動を実践するためには」【予習】チームで一致団結する方法を考える（30分） 【復習】生涯通じて楽しくできるスポーツ活動を考える（30分）	活動のふりかえり（グループワーク）
授業外学習	
<p>普段の生活の中でからだを動かすこと（スポーツ活動・身体活動）を取り入れてみましょう。 自分の住んでいる地域等で開催されているスポーツイベント（するスポーツ・みるスポーツ）に参加してみましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
なし	健康スポーツ

課題に対するフィードバック

翌週にコメントをつけて返却する

備考

本授業は、旧短期大学部にある「第2体育館」にて授業を行いますので、移動が必要になります。体育館の場所を確認し、安全に十分に気を付けて移動してください。尚、体育館内には、更衣室があります。

科目名	体育講義						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	1年	前期			
担当者名	弘中 陽子		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修 障がい者スポーツ指導員資格（初級） 必修			
授業概要 病気がなく、心とからだが健やかな状態であることを健康という。まさに、健康は人間誰もが望むところである。健康な心とからだを維持し、生き生きとした生活を送るためには未然に疾病等を予防することが大切と言われている。そのひとつとして、適度な運動を続けることが挙げられている。 本講義では、身体活動・運動の視点から、自分自身の健康のあり方を歩数や体脂肪率、筋肉量等の測定値を通して見つめ直し、生涯にわたる健康的なライフスタイルを確立するための実践方法を修得できることを目的とする。							
到達目標 J1117abd M1117 ・現在の自分の健康に関する課題に気づき、将来の自分の姿を想定し、今後の健康でいきいきとした豊かな生活のための健康づくりプランを考えることができる。 ・日常生活における身体活動・運動を通じた自分の健康観を説明できる。			成績評価方法 ・定期試験 ・授業内レポート （毎授業のふりかえりシート） ・授業外レポート（1週間活動記録表） ・授業態度・授業参加度（ハラスポーツクリエイション参加態度）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 健康とは 自分の健康観について考える・歩数の計測について 【予習・復習】活動目標を考える・現在の自分の身体活動・運動について記録する（60分）	グループワーク
2) わが国の健康事情 認知症予防から学ぶ(DVD) 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	
3) 身体活動・運動と健康 運動不足による疾病のリスクについて(DVD) 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	グループワーク
4) 身体活動量を高める方法について 前半の自分の身体活動について見つめる 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	グループワーク
5) 生涯におけるスポーツ活動について（障がい者スポーツの意義） 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	
6) 生涯におけるスポーツ活動について /（障がい者スポーツの実際・安全管理） 【予習・復習】活動目標を考える・パラポレクリエーションのふりかえりを記入する（60分）	グループ活動
7) 健康づくりプランを考える / 健康的なライフスタイルのために 【予習・復習】自分に合った健康づくりプランを考える（60分）	グループワーク
8) 授業のまとめ・学びのふりかえり（今後の健康でいきいきとした豊かな生活のための健康づくりプランを発表する）	グループワーク
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
自分の普段の生活を見つめ、身体活動量を知りましょう。そして、身体活動量を高める自分なりの方法を探しましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜、資料を配付する	<ul style="list-style-type: none"> ・健康スポーツ ・健康スポーツ

課題に対するフィードバック

翌週にコメントをつけて返す

備考

科目名	スタンダード英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	竹山 恵里	関連する資格		

授業概要

英語のアクティビティを通して、基礎的な文法・会話を養成する。
本授業は対面で実施する。(状況によっては遠隔に変更する場合もある)

到達目標

J1120a
中学・高校時代に培った英語力を、様々な活動を行うことによってスムーズに発話できるようにする。

成績評価方法

期末試験60点 + 授業態度・授業参加度20点 + 小テスト20点 = 100点満点 毎回プリントを配付・提出
(紛失しても再配付はなく、減点となる)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 仲間作り・自己紹介 【復習】自己紹介文を書く・暗記する(20分)	与えられた簡単なQ&Aを通し、クラスメートを知る
2) フォニックスの基礎（日本語の音との違いを知る）Be動詞と一般動詞の使い分け 【予習】一般動詞30以上挙げる(ルーズリーフに書く)(20分) 【復習】フォニックス発音、その音で始まる単語を書き出す(20分)	ペアで口の形・筋肉・息の出方をチェックする
3) 時制（過去・未来）を使った自己紹介：ワードオーダー（語順）の日英差 【予習】自己紹介文+1日の活動を時間軸に従い書く(30分) 【復習】動詞の過去形を覚える(20分)	簡単な自分史・目標を仲間とシェアする
4) 世界の国々：疑問詞文・数字 【予習】世界の国々とその首都を表にする(30分) 【復習】大きい数字の読み方を英語で書く(20分)	国旗を使い、その国の人間になり、情報交換をする
5) 旅行計画：未来形で計画を表現 【予習】国内・外の観光地について調べる(20分) 【復習】旅行計画をレポート的に書く(30分)	5W1Hで相手の旅行計画を聞きだす・経験をシェア
6) 旅行に関する英語（機内・入管）：リスニング、発音、発話の強化 【予習】機内での会話を暗記する(30分) 【復習】入管での会話を暗記する(30分)	海外旅行での機内・入管での会話をロールプレイする
7) 朝起きてから寝るまでの英語（1）：動詞変化の整理・疑問詞文 【予習】朝起きてから寝るまでの行動を現在形で書く(30分) 【復習】朝起きてから寝るまでの行動を過去形で書く(30分)	1日の自分の行動を整理し、友人との違いをシェアする
8) 朝起きてから寝るまでの英語（2）：頻度の副詞・時の前置詞整理 【予習】頻度の副詞を書き出す(10分) 【復習】日頃の習慣を頻度の副詞を使って書く(30分)	副詞・前置詞で文に広がりを与え、お互いを深く理解する
9) 家族・友達紹介（親族の呼称・人称の整理） 【予習】自分の家系図を描く(10分) 【復習】家族の趣味や性格などを一覧表にする(30分)	自分の家族のことをお互いに紹介しあう
10) 疑問詞文・助動詞文の整理 【予習】助動詞を書き出し、例文を作る(20分) 【復習】疑問詞+助動詞を組み合わせ作文する(20分)	Q&Aを再度整理し、正しい情報を伝える
11) わたしの家・町・国：前置詞・形容詞の整理 【予習】形容詞を家・町・国、それぞれマインドマッピングする(20分) 【復習】「理想の私の家」について作文する(10分)	自分の身の回りを見直し、比較、再認識する
12) 好きな本の紹介 【予習】一番好きな本を読んできてくる(30分) 【復習】他に好きな本について作文する(30分)	好きな本についてのQ&A
13) 絵本読み聞かせ 【予習】好きな本の一部分を徹底的に読む(20分) 【復習】「読み聞かせに使った本」を写す(30分)	読むだけでなく、聞き手の感想を受け、さらに読み込む
14) 現在完了形で経験を表現：将来の希望を未来形、または仮定法で表現 【予習】動詞の過去分詞形（原形・過去形も）を表にする(15分) 【復習】自分の経験を完了形を使って作文する(30分)	経験を話す。未経験なことへの希望を話し作文する
15) 文法整理・総復習 【予習】予習：使用したプリントを整理する(30分)	
授業外学習	
毎回、授業プリントを使用して復習をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリント配付・辞書必携	

課題に対するフィードバック

理解が難しかった部分を小テストし、満点が取れるまでくり返し教授し、納得させる。

備考

期末試験の再試験は行わず、それに代わるレポート提出も行わない。
予習・復習（家庭学習）の達成度は成績の30%を占める。

科目名	オーラル英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	針間 サラン	関連する資格		

授業概要

This course will help you to improve your spoken English in a variety of everyday situations, focussing on travel.
このコースでは、色々な場面、特に旅行に使う英会話力の上達を目指します。

到達目標

J1121a
Students will learn casual conversational English and learn phrases necessary for travel abroad. 日常英会話と旅行英語に必要な表現を学びます。

成績評価方法

Students attending this course will be evaluated according to their class participation, in class presentations, attitude, effort and test results. 授業参加、授業中の発表、態度、努力、試験の結果によって評価されます。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○		○		30
小テスト、授業内レポート	○		○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オーラル英語の紹介・説明 Introduction テキストの紹介 Where are you from? 出身はどこですか【予習】ページ4-7の確認(30分)【復習】ページ4-7の表現の確認と練習 (30分)	グループワーク
2) Classroom Language 教室英語 How long are you staying? Immigration 入国審査【予習】Unit 1 の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ8-11表現の確認と練習(30分)	グループワーク
3) Nice to meet you. 初めまして。【予習】Unit 2 の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ12・13の表現の確認と練習(30分)	グループワーク
4) What time is Dinner? Hotel ホテルの英語【予習】Unit 4 の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ16・17の表現の確認と練習(30分)	グループワーク, 課題
5) It's a kind of jacket. Explaining Japanese Culture 日本の文化の説明【予習】Unit 5 の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ18・19の表現の確認と練習(30分)	グループワーク
6) How was it? Describing Events イベントの感想を述べる【予習】Unit 6 の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ22・23の表現の確認と練習(30分)	グループワーク
7) Help yourself. Meal time 食事の言葉 Roleplay Test 1 Explanation and Preparation ロールプレイテスト 1の説明と準備【予習】Unit 7 の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ24・25の表現の確認と練習(30分)	グループワーク, 課題
8) Roleplay Test 1 ロールプレイテスト実施【予習】Unit 1-7 の会話の練習(30分)【復習】これまでに学習したテキストの確認(30分)	ロールプレイテスト
9) I'd like 15 tickets please. 切符の購入【予習】Unit 8 の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ26・27の表現の確認と練習(30分)	グループワーク
10) Are you into music? Hobbies and Interests 趣味【予習】Unit 10の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ30・31の表現の確認と練習(30分)	グループワーク
11) Tell me about your family. 家族について【予習】Unit 12の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ36・37の表現の確認と練習(30分)	グループワーク, 課題
12) I'm hungry! Ordering Food 料理の注文【予習】Unit 13の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ38・39の表現の確認と練習(30分)	グループワーク
13) What are you doing tomorrow? 明日の予定【予習】Unit 14 の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ40・41の表現の確認と練習(30分)	グループワーク
14) How much is it? いくらですか Roleplay Test 2 Explanation and Preparation ロールプレイテスト 2の説明と準備【予習】Unit 15の語彙リストの確認(30分)【復習】ページ42・43の表現の確認と練習(30分)	グループワーク, 課題
15) Roleplay Test 2 ロールプレイテスト実施【予習】Unit 8-15の会話の練習(30分)【復習】試験の復習プリント(120分)	ロールプレイテスト
授業外学習	
Review and practice the material covered in the previous week's lesson before each class, and complete any assignments or preparation for role plays tests. 全授業の復習、必要なら課題やロールプレイテストの準備・練習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
My First Passport 1 (2/E) English for International Communication	スタンダード英語

課題に対するフィードバック

課題は翌週コメントをつけて返します。

備考

【オフィスアワー】授業の前後で対応します。

科目名	情報機器の操作			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	門間 政亮	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

【対面授業】

情報処理能力を養うため、コンピュータに関する基礎的知識と、基本的なパソコン活用方法の習得を目指します。

到達目標

J1116a

- 1) 本学の共通端末を起動し、Windowsの基本操作ができる。
- 2) メール操作(作成、送受信)ができる。
- 3) インターネットを使用して目的の情報が収集できる。
- 4) 情報社会の中でのルールやマナーについて理解し、説明できる。
- 5) Wordを使用して文章作成ができる。
- 6) Excelを使用してデータの整理やグラフ作成ができる。
- 7) PowerPointを使用してプレゼンテーション用のスライドを作成し、発表することができる。

成績評価方法

期末定期試験、レポート、プレゼンテーション、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○			10
グループワーク							
演習	○	○	○	○			20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 【ガイダンス】、【メールの設定・操作】-メールの作成、送受信- 【予習】シラバスを読む（5分） 【復習】メール操作の確認（20分）	個人ワーク
2) 【Windowsの基本操作】- Windowsの仕組み、ファイル操作、タッチタイピング- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】タッチタイピングの練習（20分）	個人ワーク
3) 【インターネットの利用】-情報検索、情報社会のルールとマナー- 【予習】ファイル操作の確認（10分） 【復習】情報検索（20分）	個人ワーク
4) 【文章作成 1】-Wordの基礎、文章の作成、保存- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Word操作の確認（20分）	個人ワーク
5) 【文章作成 2】-書式設定、図表の挿入- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Word操作の確認（20分）	個人ワーク
6) 【文章作成 3】-総合的な資料の作成- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Word操作の確認（20分）	個人ワーク
7) 【表計算 1】-Excelの基礎、表の作成、保存- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Excel操作の確認（20分）	個人ワーク
8) 【表計算 2】-データ整理、計算- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Excel操作の確認（20分）	個人ワーク
9) 【表計算 3】-グラフの作成、編集- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Excel操作の確認（20分）	個人ワーク
10) 【プレゼンテーション 1】-PowerPointの基礎、スライドの作成、保存- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】PowerPoint操作の確認（20分）	個人ワーク
11) 【プレゼンテーション 2】-レイアウト、アニメーション- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】製作内容の検討（20分）	個人ワーク
12) 【プレゼンテーション 3】-デジタル絵本(紙芝居)の作成- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】製作物の確認（10分）	個人ワーク
13) 【プログラミング体験】-Scratch入門- 【予習】情報検索（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
14) 【総合演習 1】-情報検索、グラフの作成、スライドの作成- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】発表練習（20分）	個人ワーク
15) 【総合演習 2】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表した内容の確認（20分）	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>コンピュータは使えば使うほど上達します。授業で覚えた事を授業外でも繰り返し練習してください。特にタイピング練習は重要です。空いた時間で構わないので、積極的に行ってください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice2016対応（noa出版）	

課題に対するフィードバック

次回の講義冒頭で解説を行います。

備考

- ・この「情報機器の操作」は、保育学科を対象に開講しています。
- ・本学への入学までに学んだ情報リテラシーを活用し、総合的な情報通信技術を活用する力を高めます。必ず毎回出席するようにしてください。
- ・授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。

科目名	子どもとことば			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	栗山 多恵子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 選択	

授業概要

子どもがことばの獲得をしていく成長段階に応じて、絵本をとおしてことばの重要性を考える。

到達目標

J1109a
長く読み継がれてきた絵本を読み合い知ることにより、
学生自身の選書の力を養う。

成績評価方法

全授業の中で紹介した絵本の中から1冊を選択する。
そして、その理由を述べる。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							70
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ことばの誕生以前の周囲の人たちとの関わりの重要性 【予習】現在までに、心に残っている絵本 1冊を選び、その理由を述べる。（60分）	
2) ことばの獲得 わらべうたを唄う 【予習・復習】月齢別に知識として言葉の獲得方法を知っておく（60分）	
3) 生活の中で獲得していくことばを紡ぎあわせていく環境作り わらべうたを唄う 【予習・復習】絵本が身近に感じられるように工夫していく。（60分）	
4) ことばのもつ音のリズム 【予習・復習】声に出して読み込む。（60分）	個人ワーク
5) 視覚をとおして発生してくることばの表現 【予習・復習】絵と言葉のバランスを確認する。（60分）	
6) 絵とことばで原体験する絵本の世界 【予習・復習】声に出して読み込む。（60分）	個人ワーク
7) 絵本の質について 【復習】同じタイトルの絵本を読み比べてみる。（60分）	個人ワーク
8) ことばのよるこびを共有する絵本の世界 【予習・復習】声に出して読み込む。（60分）	個人ワーク
9) 林明子の世界 【予習】グループワークの準備。（60分）	グループワーク
10) 林明子の世界 【予習・復習】内容発表がどの場所でもできるようにしておく。（60分）	個人ワーク
11) 昔ばなしの絵本 【予習】グループワークの準備。（60分）	グループワーク
12) 昔ばなしの絵本 【予習・復習】内容発表がどの場所でもできるようにしておく。（60分）	個人ワーク
13) 核となる絵本の紹介のまとめ子どもにかかわる大人の選書 【予習】プレゼンテーションの準備。（60分）	プレゼンテーション
14) 学生による絵本の選書とプレゼンテーション 【予習・復習】内容発表がどの場所でもできるようにしておく。（60分）	プレゼンテーション
15) 学生による絵本の選書とプレゼンテーション 【予習・復習】各自が選書した絵本を読み込む。（60分）	プレゼンテーション
授業外学習	
授業毎に実施した内容を振り返り、絵本の読み語りの練習をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜、資料を配布します。 <参考文献>・子どもとことば（岡本夏木著／岩波新書） ・ことばと発達（岡本夏木／岩波新書） ・えほんのせかいこどものせかい（松岡亨子／日本エディターズスクール出版部） ・「わらべうた」で子育て（福音館書店）	保育指導法（言葉）

課題に対するフィードバック

読み聞かせの実践の際に、読み方、絵本の持ち方、発声等の指導をする。

備考

絵本を読み聞きする際の内面的姿勢をみる。
【オフィスアワー】授業の前後で対応します

科目名	生活						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	前期			
担当者名	河村 靖彦	関連する資格	幼稚園教諭二種免許				
授業概要 子どもの主体的な学びや育ちは、子どもの生活の場である家庭や幼稚園だけでなく地域社会における身近な人や自然などのかかわりを体験していく中で、主体的に学び、自ら育っていく。授業では、小学校での実務経験をもとに、いかに子どもたちが身近な生活に関する見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育てていくかについて授業を行う。併せて、幼稚園や保育園等と小学校の連携について考える。							
到達目標 生活の場である家庭・園(学校)・地域社会における人や自然とのかかわりを理解し、気付き自ら考え、実践活動に結び付けられるよう工夫する。			成績評価方法 定期試験 60% レポート 10% 授業態度・授業参加 10% グループワーク 10% 実習(フィールドワーク) 10%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							10

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 予習：幼稚園教育要領及び小学校学習指導要領生活編において、幼小連携に関わる内容についてチェックしてくる。(30分)	
2) 幼稚園教育要領及び小学校学習指導要領生活編について 復習：幼稚園及び小学校における幼小連携についてまとめる。(15分) 予習：学校、家庭、地域と生活の内容を読んでくる。(10分)	
3) 学校、家庭、地域と生活 復習：各内容のポイントをまとめる。(15分) 予習：宇部フロンティア大学周辺の草花や生き物について調べてくる。(15分)	
4) 自然と生活(自然観察) 復習：大学周辺にあった草花や生き物について地図上にまとめる。(15分) 予習：栽培したい夏野菜をグループで決めてくる。(10分)	フィールドワーク及びグループワーク
5) 植物の栽培 復習：夏野菜の栽培計画を各グループで作成し、役割分担を決めてくる。(15分) 予習：夏野菜の栽培に必要な物を準備する。(15分)	グループワーク
6) 植物の栽培 復習：栽培記録を作成する。(15分) 予習：大学周辺の公共物や公共施設について調べてくる。(15分)	グループワーク
7) 公共物や公共施設の利用 復習：公共物や公共施設の違いについてまとめる。(15分) 予習：大学周辺の地図作成に必要な資料を集めてくる。(15分)	グループワーク
8) 公共物や公共施設の利用 復習：公共物等を利用するにあたって、気を付けることをまとめる。(15分) 予習：竹を使った遊びについて、調べてくる。(15分)	フィールドワーク
9) 自然や物を使った遊び 復習：自然や物を使ったおもちゃ作りの計画表から準備物を確認する。(15分) 予習：作ったおもちゃでどのように遊ぶか工夫する。(15分)	グループワーク
10) 自然や物を使った遊び 復習：自然や物を使ったおもちゃで遊んだことを振り返る。(10分) 予習：幼稚園教育要領等で幼小連携について書いてあるところを調べる。(15分)	グループワーク
11) 幼小連携のあり方 復習：幼小の連携には、どんなものがあったかまとめてくる。(15分) 予習：スタートカリキュラム及びアプローチカリキュラムについて調べる。(15分)	ディスカッション
12) 幼小連携のまとめ 復習：幼小連携のまとめと課題についてまとめる。(15分) 予習：自分の成長記作成に必要な資料を準備してくる。(15分)	
13) 自分の成長 予習：自分の成長記のプロットを考えてくる。(15分)	
14) 自分の成長 復習：自分の成長記を振り返り、よさや課題についてまとめてくる。(15分)	
15) まとめ 復習：生活の授業を通して、学んだことや今後の実習に活かしていきたいことをまとめてくる。(15分)	
授業外学習	
授業中に提示したレポートの課題を滞りなく実施してくること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて資料を配布する。 授業終了後、毎回、授業を振り返り、気付きや学びの記録をする。 参考書：幼稚園教育要領及び小学校学習指導要領解説（生活編）	保育内容研究

課題に対するフィードバック

活動カード等を提出さえ、翌週にコメントを付けて返す。

備考

携帯電話や飲食物等、授業に必要なものはカバン等に入れ、机の上に置かないこと。

科目名	子どもの音楽						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	前期			
担当者名	久光 明美、阿部 勝、佐々木 ちとせ、玉木 葉子、神出 裕子	関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 選択				
授業概要 幼稚園教育要領・保育所指針に基づき、音楽を通じた基礎的表現技術を習得することを目的とする。保育現場での音楽表現活動を展開するために必要な、音楽に関する基礎的知識や読譜力を身につけ、同時に、声による表現技術や声楽・ピアノを中心とした基礎技能を修得しながら、豊かな音楽的感性を培い、自己表現していく技術や方法を学ぶ。子どもの歌は毎回季節、行事などに応じた曲を歌う。							
到達目標 J1203ab 1. 楽典の基礎的知識を理解する。 2. 正しい音程で楽しく歌うことができる。 3. ピアノ演奏ができる。 4. 弾き歌いができる。 5. 様々な声の出し方があることに気付き声による豊かな表現ができる。			成績評価方法 定期試験（実技、楽典）・授業態度・提出物による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							30
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（ピアノ個人レッスン振り分けの実技発表など）【予習】実技課題曲を入念に練習する。「子どもの音楽」のシラバスを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲は練習しておく。（30分程度）	個人ワーク
2) 音楽基礎(楽譜のしくみ)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク・小テスト
3) 音楽基礎(音名)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク・小テスト
4) 音楽基礎(音名)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク・小テスト
5) 音楽基礎(小節)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク・小テスト
6) ピアノ・弾き歌いの実技中間確認試験 【予習】実技中間確認試験課題曲を入念に練習する。（30分程度）【復習】実技試験の課題を明確にし、次の実技課題曲の練習をしておく。（30分程度）	振り返り・ディスカッション
7) 音楽基礎(小節)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク
8) 音楽基礎(楽曲の形式)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
9) 音楽基礎(音符と休符)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	
10) 音楽基礎(音符と休符)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
11) 音楽基礎(音符と休符)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
12) 音楽基礎(拍子とリズム)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
13) 音楽基礎(拍子とリズム)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
14) まとめ【予習】実技課題曲を入念に練習し、テキスト、配布資料の確認をしておく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、前期授業内容の重点を確認し、試験対策を行なう。（30分程度）	グループワーク・個人ワーク 小テスト
15) 実技試験 【予習】実技試験課題曲を入念に練習する。（30分程度）【復習】実技試験の振り返りからの課題を明確にする。楽典試験対策をしておく。（30分程度）	振り返り・ディスカッション
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のレッスンに向けてのピアノ、弾き歌い、歌の個人練習を積極的に行う。 ・音楽の基礎知識、読譜力を復習することで身につける。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どものための音楽表現技術」（萌文書林） 「こどものうた 100」（チャイルド本社） 「子どもの発達と音楽表現」（学文社） プリント配布	子どもの音楽 ～ 、保育指導法（表現）

課題に対するフィードバック

- ・授業最後に行なう小テスト結果から各学生の課題を明確にコメントして翌週には返却する。
- ・ピアノ受講表に個人レッスン実技担当教員から毎回の各学生の課題を明確にコメントして翌週には返却する。

備考

- ・レッスン内容をピアノ受講表に記入し、練習の振り返りを行い、課題を明確にすること。
- ・毎回のレッスンには入念な練習をして臨み、楽譜を読む習慣をつけること。
- ・楽譜は、暗譜して演奏できるようにすること。

科目名	子どもの音楽						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	久光 明美、阿部 勝、佐々木 ちとせ、玉木 葉子、神出 裕子		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 選択			
授業概要 子どもの音楽 を基礎として、音楽表現技術や知識及び表現方法をより発展的に学ぶことを目的とする。ピアノ、声楽、現場での即戦力となる「弾き歌い」の技術を高めると共に、音楽を通して自己表現していく技術を習得する。声楽の個人レッスンを行いながら、子どもの歌を通しての声による表現力を学ぶ。子どもの歌は毎回季節、行事などに応じた曲を歌う。							
到達目標 J2207ab 1.楽譜を理解し、正しい音程、正確なリズムでピアノ演奏、歌唱ができる。 2.独唱やアンサンブルを通して曲のイメージをもって表現することができる。 3.弾き歌いなどが実習で実践できる技術を習得する。			成績評価方法 定期試験(実技、楽典)・授業態度・提出物による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							30
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション・夏期休暇課題曲の試験 【予習】実技課題曲を入念に練習する。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
2)	音楽基礎(音程)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
3)	音楽基礎(音程)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストp57を読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク 小テスト
4)	音楽基礎(音程)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク 小テスト
5)	音楽基礎(音階と調)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク 小テスト
6)	音楽基礎(音階と調)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク 小テスト
7)	ピアノ・弾き歌いの実技中間試験 【予習】実技中間確認試験課題曲を入念に練習する。（30分程度）【復習】実技試験の課題を明確にし、次の実技課題曲の練習をしておく。（30分程度）	振り返り ディスカッション
8)	音楽基礎(和音とコードネーム)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
9)	音楽基礎(和音とコードネーム)・歌唱・楽器での表現 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
10)	歌唱・声を中心とした表現活動 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
11)	歌唱・声を中心とした表現活動 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度）【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
12)	楽器遊びを中心とした表現活動 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	グループワーク・振り返り ディスカッション
13)	楽器遊びを中心とした表現活動 【予習】実技課題曲を入念に練習する。テキストを読んでおく。（30分程度） 【復習】実技課題曲の練習をし、授業内容の重点を確認する。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
14)	音楽基礎・歌唱・楽器での表現のまとめ 【予習】実技課題曲を入念に練習する。（30分程度） 【復習】後期授業内容の重点を確認し、試験対策を行なう。（30分程度）	個人ワーク グループワーク
15)	実技試験 【予習】実技試験課題曲を入念に練習する。（30分程度）【復習】実技試験の振り返りからの課題を明確にする。楽典試験対策をしておく。（30分程度）	振り返り ディスカッション
授業外学習		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のレッスンに向けてのピアノ、歌の個人練習を積極的に行う。 ・音楽の基礎知識、読譜力を復習することで身につける。 		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「子どものための音楽表現」(萌文書林) 「こどものうた 100」(チャイルド社) 「子どもの発達と音楽表現」(学文社) プリント配布		子どもの音楽、～、保育指導法(表現)

課題に対するフィードバック

- ・授業最後に行なう小テスト結果から各学生の課題を明確にコメントして翌週には返却する。
- ・個人レッスン実技担当教員からピアノ受講表に毎回の各学生の課題を明確にコメントして翌週には返却する。

備考

- ・レッスン内容を授業記録表に記入し、練習の振り返りを行い課題を明確にすること。
- ・毎回のレッスンには入念に練習をして臨み、楽譜を読む習慣をつけること。
- ・楽譜は、暗譜して演奏できるようにすること。

科目名	子どもの造形			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	原井 輝明	関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 選択	

授業概要

幼児の情操教育を豊かにするための支援ができるようになるために、造形表現の基本的な表現方法を修得する。また、同時に作品制作を進める過程で、自身の表現力を向上させ、身をもって制作活動の楽しさを味わう経験を持つ。
本授業担当教員は画家としての実務経験をもとに、造形表現技術の指導を行う。

到達目標

J1204ab

- ・保育者が子どもと関わる造形活動において必要な、材料、用具の取り扱い方や技法を身につけ、作品制作ができるようになる。
- ・子どもと関わる際に用いる保育教材が作れるようになる。
- ・保育室や園内を飾る壁面制作において必要になってくる、行事や生活場面が描けるようになる。

成績評価方法

スケッチブック、レポート、演習の振り返りシート、定期試験による総合評価。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							50	
小テスト、授業内レポート							20	
宿題、授業外レポート							20	
授業態度・授業参加度							5	
プレゼンテーション								
グループワーク							5	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス 造形表現の意義 さまざまな素材（鉛筆、フェルトペン、パステル、クレパス、など） 【予習・復習】教科書の「はじめに」「1章」を読む。（60分）	個人ワーク
2) 絵画表現技法を楽しむ スクラッチ技法、フィンガーペインティング技法（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
3) 絵画表現技法を楽しむ ウォッシング技法、パチック技法、にじみ技法、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
4) 絵画表現技法を楽しむ ウォッシング技法、型紙作り、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
5) 絵画表現技法を楽しむ ウォッシング技法、スパッタリング、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
6) 絵画表現技法を楽しむ マスキング技法、マーブリング技法、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
7) 絵画表現技法を楽しむ ローリング、ドリッピング、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
8) 絵画表現技法を楽しむ デカルコマニー技法、フロッタージュ技法、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
9) 絵画表現技法を楽しむ スタンピング技法、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
10) 絵画表現技法を楽しむ コラージュ技法、（クロッキー） 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
11) ペープサートとは、材料・道具、題材選び、構想 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
12) ペープサート、制作 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
13) ペープサート、制作 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
14) ペープサート、制作 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	個人ワーク グループワーク
15) まとめ、ふりかえり 【予習・復習】授業の続きを完成させる。（60分）	レポート
授業外学習	
<p>授業内で必要なものに関しては、前回にアナウンスをする。持参物・服装などの準備が整わず、授業時間を無駄にしないよう、授業前準備をしっかりすること。</p> <p>やむを得ず欠席した場合は、次回授業に支障がないよう各自で情報を集め、準備をすること。また、達成できていない課題は空き時間で行い、遅れを取り戻すこと。</p> <p>事後学習に関して、毎回の制作物の整理をすること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保育をひらく造形表現」槇英子著（萌文書林） 「スケッチブック」	子どもの造形 ・ ・ ・ 保育指導法（表現 ）

課題に対するフィードバック

汚れても構わない服装で授業に臨むこと。
【オフィスアワー】原井輝明：harai (アットマーク) ube-c.ac.jp

備考

科目名	子どもの造形						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	原井 輝明		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 選択			
授業概要 造形表現 で習得してきたことを踏まえてその幅を広げ、深めていく。 子どもの表現活動を支える知識と技術を修得するため、自然や身近にある物を利用して造形表現に必要なと思われる体験を蓄積し、創造する喜びを会得する。 本授業担当教員は画家としての実務経験をもとに、造形表現技術の指導を行う。							
到達目標 J2208ab ・材料の性質、道具・画材の扱い方を学びながら技法を身につけ、作品作成の喜びを感じ取る。 ・保育者として作品づくりができるようになると同時に、子どもの活動に結び付けられる様になる。			成績評価方法 提出作品、レポート、演習の振り返りシート、定期試験による総合評価。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス 感触の再発見 様々な粘土素材を楽しむ（小麦粉ねんど） 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	グループワーク
2) 感触の再発見 様々な粘土素材を楽しむ（油ねんど・紙ねんど） 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	グループワーク
3) 感触の再発見 粘土粉末をこねる 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	グループワーク
4) 粘土成型の用具説明および技法 様々な技法（たたら作り、ひも作り、くり抜き） 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
5) 陶芸制作 成型 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
6) 陶芸制作 素焼き・釉薬掛け 【予習・復習】完了していない作業を時間外で行う。（30分）	個人ワーク
7) 陶芸制作 本焼き、陶芸まとめレポート 【予習・復習】準備物を揃える。レポート作成。（120分）	
8) 版画の種類と作成 さまざまな版画、版あそび（スタンピングの応用） 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
9) 紙版画の制作 版づくり 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
10) 紙版画の制作 刷り 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
11) サインの入れ方 紙版画の応用 素材の工夫（布、糸、など） 【予習・復習】完了していない作業を時間外で行う。（60分）	
12) 紙版画の応用 版づくり 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
13) 紙版画の応用 刷り 【予習・復習】準備物を揃える。教科書の子ども活動と参照。（30分）	個人ワーク
14) スチレン版画技法と制作 刷り 【予習・復習】完了していない作業を時間外で行う。（120分）	個人ワーク
15) 版画作品提出、まとめ、試験について 【予習・復習】試験に向けて復習（5時間）	
授業外学習	
<p>授業内で必要なものに関しては、前回にアナウンスをする。持参物・服装などの準備が整わず、授業時間を無駄にしないよう、授業前準備をしっかりとすること。</p> <p>やむを得ず欠席した場合は、次回授業に支障がないよう各自で情報を集め、準備をすること。また、抜けた課題は空き時間で行い、遅れを取り戻すこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保育をひらく造形表現」槇英子著（萌文書林）	子どもの造形 ・ ・ 保育指導法（表現 ）

課題に対するフィードバック

制作物は期末にまとめて評価をし返却

備考

汚れても構わない服装で授業に臨むこと。
【オフィスアワー】原井輝明：harai (アットマーク) ube-c.ac.jp

科目名	子どもの体育			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	弘中 陽子、富田 輝美	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 選択 保育士資格 必修	

授業概要

幼児期の運動は、一人ひとりの幼児の興味や生活経験に応じた遊びの中で、幼児自らが体を動かす楽しさや心地よさを実感することが大切であることから、幼児が自発的に体を動かして遊ぶ機会を十分に保障することが重要である。さらに、幼児が楽しく体を動かして遊んでいる中で、多様な動きを身に付けていくことができる
本授業では、基本的な動きをキーワードにした様々な運動遊びの体験を通して、多様な動きの獲得に結び付く遊びの展開方法を理解することを目的に学習を進める。

到達目標

- ・何事にも積極的に取り組み、自ら進んで楽しく体を動かすことができる。
- ・運動遊びの楽しさを理解し、遊びの楽しさを自ら広げることができる。
- ・幼児の体操の実践を通して、子どもの前に立つ保育者としての姿勢、表情や動き等の重要性を理解できる。

成績評価方法

- ・定期試験（実技・幼児の体操）
- ・授業内レポート（到達度チェック）
- ・授業態度（服装、身だしなみ等を含む）及び授業参加度
- ・グループ活動の取り組み

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							60	
小テスト、授業内レポート							15	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							5	
プレゼンテーション								
グループワーク							20	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション（授業計画等ガイダンス）/ 集合・整列・集団行動（弘中） 【予習】シラバスをもとに、授業全体の「めあて（目標）」を考える（15分） 【復習】並ぶ、集合することの意味を理解する（30分）	
2)	体を動かすこととは / 日常生活の中の動き・遊びの中の動き（弘中） 【予習】テキスト41-46頁を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
3)	体を移動する動き 「歩く・走る」（弘中） 【予習】テキスト148-153頁、172-175頁を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
4)	体を移動する動き 「跳ぶ・這う」（弘中） 【予習】テキスト160-165頁を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
5)	体のバランスをとる動き 「寝ころぶ・起きる・回る・転がる」（弘中） 【予習】テキスト130-135頁を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
6)	用具などを操作する動き 「持つ・運ぶ・積む」（弘中） 【予習】テキスト106-111頁、180-183頁を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
7)	用具などを操作する動き 「渡る・ぶら下がる・押す・引く」（弘中） 【予習】テキスト124-129頁を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	
8)	創作運動遊び / 基本的な動きを用いた運動遊びをグループで実践する（弘中） 【予習】テキスト65-73頁を熟読し、楽しい運動遊びを考えてくる（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
9)	体操の実践（ラジオ体操他） / グループに分かれ練習（富田・弘中） 【予習】ラジオ体操を正しくできるよう練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえり・本日の到達度を記入する（15分）	グループ活動
10)	幼児の体操 幼児向き体操と乳児向き体操を選択、決定（富田・弘中） 【予習】子どもの体操を調べてくる（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
11)	幼児の体操 / グループごとに選択した体操を練習（富田・弘中） 【予習】選択した体操を練習してくる（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
12)	幼児の体操 / グループごとに選択した体操を練習（富田・弘中） 【予習】選択した体操を練習してくる（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
13)	幼児の体操 / グループごとに選択した体操を練習（富田・弘中） 【予習】グループごとに体操の練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
14)	幼児の体操 / グループごとに体操の実践（富田・弘中） 【予習】グループごとに体操の練習をする（30分） 【復習】めあてのふりかえりを記入する（15分）	グループ活動
15)	幼児の体操 / グループごとに体操の実践・授業のまとめ（富田・弘中） 【復習】授業全体のふりかえりシートを記入する（15分）	
授業外学習		
授業計画内容を照らし合わせながら、テキストを受講までに熟読しておいてください。 授業の空き時間等を活用し、グループごとに体操の練習を進めていきましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「保育と幼児期の運動あそび」岩崎洋子編著（萌文書林） 適宜、参考資料（プリント）を配付する		子どもの体育 ～ 保育指導法（健康）

課題に対するフィードバック

翌週にコメントをつけて返却する

備考

科目名	子どもの体育						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	弘中 陽子、富田 輝美		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 選択 保育士資格 必修			
授業概要 子どもの体育の内容を踏まえた上で、幼児期の基本的な動きのひとつ、「用具などを操作する動き（操作系）」を取り上げ、ボール、縄、フープ、マット等を使った運動遊びの実践を行う。特に、保育者としての運動遊びの展開方法、及び幼児の年齢や発達段階に応じた援助方法を理解し、修得する。 また、幼児期における運動能力の中で著しく発達する調整力も踏まえて、リズムや音楽に合わせ、しなやかに身体を動かすことができるとともに、保育者としての表現力を修得する。							
到達目標 ・自分のからだをしなやかに動かす楽しさを感じる。 ・マット運動（前転・後転）、跳び箱（5、7段）、縄跳び（8種目）のそれぞれのコツと練習方法を理解し、前向きに取り組む。また、仲間へのサポートや励ましを積極的に行なうことができる。 ・子どもの発達段階に応じたボール、縄、フープ、マット等を使った運動遊びの特徴と展開方法を理解する。			成績評価方法 ・小テスト（実技） （身体表現の基本的な動き・ダンス、マット運動） ・跳び箱・縄跳び ・課題（到達度チェック） ・授業態度及び授業参加度（服装、身だしなみ等を含む） ・グループ活動の取り組み				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション（授業計画等説明） / マットを使った運動遊び（弘中） 【予習】テキスト「マットで遊ぶ」を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
2)	跳び箱を使った運動遊び / 前回の復習・跳び箱（5段・7段）の練習（弘中） 【予習】テキスト「跳び箱で遊ぶ」を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	グループ活動
3)	縄を使った運動遊び / 前回の復習・短縄跳び（8種目）の練習（弘中） 【予習】テキスト「なわで遊ぶ」を熟読する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	グループ活動
4)	マット運動・跳び箱・縄跳び / グループ練習（弘中） 【予習】得意でない種目の練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	グループ活動
5)	マット運動・跳び箱・縄跳び / グループ練習（弘中） 【予習】得意でない種目の練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	グループ活動
6)	マット運動・跳び箱・縄跳びのまとめ（小テスト）（弘中） 【予習】小テスト種目を練習する（30分） 【復習】次回のテストに向けて練習する（30分）	
7)	マット運動・跳び箱・縄跳びのまとめ（小テスト）（弘中） 【予習】小テスト種目を練習する（30分） 【復習】テキストのマット遊び・縄遊び・跳び箱遊びを熟読する（30分）	
8)	身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】テキスト「表現的な遊び」を熟読する（15分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
9)	身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】前回のステップを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
10)	身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】前回のステップとダンスを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
11)	身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】前回のステップとダンスを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
12)	身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】前回のステップとダンスを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
13)	身体表現・ダンス（基本的な動き）（富田・弘中） 【予習】前回のステップとダンスを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
14)	身体表現・ダンス（まとめ・小テスト）（富田・弘中） 【予習】すべてのステップ（ポイント）とダンスを練習する（30分） 【復習】めあてのふりかえりと到達チェックシートを記入する（15分）	
15)	紙・ダンボール・袋等を使った運動遊びの実際 / 授業のまとめ（弘中） 授業のまとめ・授業評価アンケート	
授業外学習		
授業後、参照するテキストを熟読し、授業内容のふりかえりを行って下さい。 空きの時間を活用して、しっかり練習に取り組みましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「保育と幼児期の運動あそび」岩崎洋子編著（萌文書林） 適宜、参考資料（プリント）を配付する		子どもの体育 ・ ・ ・ 保育指導法（健康） レクリエーション演習 ・

課題に対するフィードバック

授業のめあて、及び到達度チェックシートはコメントを書き、翌週の授業にて返却する

備考

科目名	保育内容総論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	前期			
担当者名	重村 美帆		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 本授業は、対面と遠隔で実施する。保育の内容は、子どもの生活と遊びを通して「養護と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）」が一体的に展開し、保育実践においてそれらがつながりをもつことを理解する。さらに、保育内容の歴史の変遷や「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の全体構造を理解した上で、情報機器及び視聴覚教材を活用しながら実際の遊び場面を通し保育や子どもを捉え、保育創りの展開が出来るようにする。保育現場の実務経験をもとに保育のあり方について授業を行う。							
到達目標 J1201ab 1、幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園で展開される保育内容について「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」をふまえてそれらの全体構造を理解することができる。 2、保育内容の歴史の変遷について説明することができる。 3、実際の遊び場面について視聴覚教材を活用しながら、観察・記録する視点を理解し、保育内容と子ども理解の関わりについて記述することができる。 4、子どもの生活と遊びを通して各領域が総合的に展開し、保育実践においてそれらがつながりをもつことを具体的に理解することができる。			成績評価方法 定期試験 60% 演習（20%） 授業内レポート（10%） 授業外レポート（10%） による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○						60
小テスト、授業内レポート	○		○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園の概要について 【予習】テキスト第 1 章を熟読する（30 分） 【復習】幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園の比較表を完成する（30分）	授業外レポート
2) 保育内容の歴史の変容 【予習】テキスト第 4 章を熟読する（30 分） 【復習】保育所保育指針等の歴史の変容についてまとめる（30 分）	授業内レポート
3) 幼稚園での生活と遊び 【予習】幼稚園教育要領序章を熟読する（30 分） 【復習】幼稚園での生活の流れや遊びについてまとめる（30 分）	授業内レポート
4) 付属幼稚園見学「子どもを見る」 【予習】幼稚園教育要領第 1 章第 1 節を熟読する（30 分） 【復習】見学内容「子どもの遊びや様子」をまとめる（30 分）	演習 授業外レポート
5) 幼稚園で過ごす子どもの発達過程に配慮した保育内容の展開「子ども理解」 【予習】テキスト第 3 章を熟読する（30 分） 【復習】幼稚園で過ごす子どもの発達過程について理解を深める（30 分）	グループワーク 授業内レポート
6) 付属幼稚園見学「幼稚園教諭の支援と役割を見る」 【予習】幼稚園教育要領第 1 章を熟読する（30 分） 【復習】見学内容「幼稚園教諭の姿や様子」をまとめる（30 分）	演習 授業外レポート
7) 幼稚園で過ごす子どもの発達過程に配慮した保育内容の展開「保育者理解」 【予習】テキスト第 3 章を熟読する（30 分） 【復習】幼稚園教諭の仕事や役割について理解を深める（30 分）	グループワーク 授業内レポート
8) 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく保育のねらい及び内容の理解【予習】テキスト第 5 章を熟読する（30 分） 【復習】3 法令の保育内容の捉え方についてまとめる（30 分）	授業内レポート
9) 保育所での生活と遊び 予習】保育所保育指針第 1 章 1 節を熟読する（30 分） 【復習】保育所で過ごす子どもの生活の流れについて理解を深める（30 分）	授業内レポート
10) 保育所見学「子どもを見る」 【予習】保育所保育指針第 1 章 2 節を熟読する（30 分） 【復習】見学内容「子どもの姿や様子」をまとめる（30 分）	演習 授業外レポート
11) 保育所で過ごす子どもの発達過程に配慮した保育内容の展開「子ども理解」 【予習】テキスト第 3 章を熟読する（30 分） 【復習】保育所で過ごす子どもの発達過程について理解を深める（30 分）	グループワーク 授業内レポート
12) 保育所見学「保育士の支援と役割を見る」 【予習】保育所保育指針第 2 章 4 節を熟読する（30 分） 【復習】保育所保育士の仕事や役割について見学内容をまとめる（30 分）	演習 授業外レポート
13) 保育所で過ごす子どもの発達過程に配慮した保育内容の展開「保育者理解」 【予習】テキスト第 7 章を熟読する（30 分） 【復習】保育を創る保育所保育士の役割について理解を深める（30 分）	グループワーク 授業内レポート
14) 特別な支援を必要とする子どもの保育と地域交流について 【予習】保育所保育指針第 3 章 1 節を熟読する（30 分） 【復習】子どもの健康支援として必要な知見を深める（30 分）	グループディスカッション 授業内レポート
15) 15. 保育内容（健康・人間関係・環境・表現・言葉）の総合的視点と保育者の省察 【予習】テキスト第 8 章を熟読する（30 分） 【復習】保育とは何かについて自分の意見をまとめる（30 分）	グループディスカッション 授業内レポート
授業外学習	
・幼稚園教育要領及び保育所保育指針を熟読してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 新しい保育講座 保育内容総論、渡邊英則・大豆生田啓友、ミネルヴァ書房	保育指導法の各領域科目

課題に対するフィードバック

授業内外レポートは、Classroomを活用し返却・解説を行う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	保育指導法（健康）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	後期			
担当者名	弘中 陽子		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 領域「健康」は、「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」ことを目指すものである。幼稚園、及び保育所、認定子ども園において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領、及び保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領指針に示された領域「健康」のねらい及び内容について背景にある専門領域と関連させながら理解を深めるとともに、領域「健康」に関わる具体的な指導場面において子どもの発達等に応じた情報機器及び教材の活用法を踏まえ、保育を实践できる力を身につける。							
到達目標 1. 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において示されている保育内容（健康・人間関係・環境・表現・言葉）について総合的に関連させながら理解することができる。 2. 領域「健康」のねらい及び内容の理解を踏まえ、乳幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解することができる。 3. 領域「健康」において乳幼児が身に付けていく内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解することができる。 4. 幼児の発達や体験を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、領域「健康」に関わる保育場面を想定した指導案を立案、演習（模擬保育）し、その振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けることができる。			成績評価方法 ・ 定期試験 ・ 授業内レポート ・ 宿題、授業外レポート ・ 演習（模擬保育） 以上を総合的に評価する				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針等における領域「健康」について 【予習・復習】幼稚園教育要領・保育所保育指針等の保育内容（健康）を熟読し、理解する。（60分）	
2) 子どもの「健康」をめぐる現状と課題 【予習・復習】最近の子どもの健康をめぐる現状を調べ、理解する。（テキスト参考）（60分）	
3) 生活習慣を獲得する・自分たちで生活の場を整えるための援助 【予習・復習】園生活の中での生活習慣を調べる。生活習慣を育む保育者の役割を理解する。（60分）	グループワーク
4) 多様な動きを育むための援助 【予習・復習】乳幼児期の運動機能の発達と獲得過程を確認する。身近な遊具を使った遊びを考える。（60分）	グループワーク
5) 子どもの運動機能の発達とからだの動きについて（保育現場の観察） 【予習・復習】担当する年齢の子どものからだところの発達段階を確認する。観察した子どものからだの動きをまとめる。（60分）	
6) からだの動きや興味を引き出す環境・安全に楽しむ環境について（保育現場の観察） 【予習・復習】テキストの該当ページを熟読する。子どものからだ動きや興味を引き出す環境、安全に楽しむ環境について観察内容をまとめる。（60分）	
7) 危険や安全を意識する力を育むための援助 【予習・復習】身の回りの道具（はさみやセロテープ等）の安全な使い方について考える。（60分）	グループワーク
8) 領域「健康」と「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」/小テスト（今までの学びのふりかえり） 【予習・復習】今までの授業プリントやテキスト等を見直し、確認する。（60分）	
9) 保育環境の構成と子どもの活動「指導計画の立て方と模擬保育の進め方」 【予習・復習】対象年齢児に応じた「健康」のねらいと内容をもとに保育活動の指導案を作成する。（60分）	
10) 健康を通じた保育活動の展開とふりかえり「0、1歳児の保育」 【予習・復習】乳児保育「健康」におけるねらいと内容を熟読する。模擬保育をふりかえり、保育の改善点を理解する。（60分）	グループワーク
11) 健康を通じた保育活動の展開とふりかえり「2歳児の保育」 【予習・復習】1歳以上3歳未満児の保育「健康」におけるねらいと内容を熟読する。模擬保育をふりかえり、保育の改善点を理解する。（60分）	グループワーク
12) 健康を通じた保育活動の展開とふりかえり「3歳児の保育」 【予習・復習】3歳以上児の保育「健康」におけるねらいと内容を熟読する。模擬保育をふりかえり、保育の改善点を理解する。（60分）	グループワーク
13) 健康を通じた保育活動の展開とふりかえり「4歳児の保育」 【予習・復習】3歳以上児の保育「健康」におけるねらいと内容を熟読する。模擬保育をふりかえり、保育の改善点を理解する。（60分）	グループワーク
14) 健康を通じた保育活動の展開とふりかえり「5歳児の保育」 【予習・復習】3歳以上児の保育「健康」におけるねらいと内容を熟読する。模擬保育をふりかえり、保育の改善点を理解する。（60分）	グループワーク
15) 授業のまとめ、授業評価アンケート 【復習】子どもたちの健康を支える保育者の援助について理解する。（30分）	
授業外学習	
<p>・新聞記事や保育雑誌等をよく読み、子ども、あるいは自分自身の健康に関する事柄の理解を広げましょう。</p> <p>・模擬保育を実施する場合は、あらかじめ指導案を作成し、事前にシュミレーションを行っておきましょう。尚、必要な物品等は、あらかじめ確認し、準備を整えておきましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>・「事例で学ぶ保育内容 領域健康」無藤隆監修・倉持清美編者代表（萌文書林）</p> <p>・「幼稚園教育要領解説」文部科学省（フレーベル館）</p> <p>・「保育所保育指針解説書」厚生労働省（フレーベル館）</p> <p>・「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館）</p>	子どもの体育 ～

課題に対するフィードバック

提出した課題等は、コメント等をつけて返却する

備考

科目名	保育指導法（人間関係）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	後期			
担当者名	大森 洋子		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許状 必修			
授業概要 乳幼児期の人間関係の発達について理解し、発達に即した保育内容について具体的場面を通して考えるとともに、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解し、保育者の援助や環境構成、教材等について学んでいく。また、乳幼児の発達に即した具体的な指導計画の作成や、保育の構想、記録と省察等の方法について身につける。							
到達目標 J2205ab 1.乳幼児期の人間関係の発達を理解する。 2.「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」における保育の基本についての理解を踏まえたうえで、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 3.自立心を育み、人と関わる力を養うために必要な、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解する。 4.領域「人間関係」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した教材の効果的な活用法を理解し、保育構想に活用する。 5.指導案の構成を理解した上で、指導案を立案・演習し、保育を改善する視点を身に付ける。			成績評価方法 定期試験・小テスト・宿題、授業外レポート・プレゼンテーションによる総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート				○			15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○		○	○		10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 乳幼児を取り巻く「人間関係」の現状と課題 【予習】現代の子どもの人間関係の特徴について調べる。(20分) 【復習】乳幼児期の自分と大人とのかかわりをまとめる。(30分)	
2) 2) 保育の基本と領域「人間関係」 【予習】幼稚園教育要領解説・保育所保育指針解説等の指定頁を読んでおく。(20分)	ワークシート活用
3) 3) 乳幼児期の人間関係の育ちと保育 (0歳児) 【予習】テキスト指定頁を読んでおく。(20分)	ワークシート活用
4) 4) 乳幼児期の人間関係の育ちと保育 (1,2歳児) 【予習】保育所保育指針解説等の指定頁を熟読しておく。(20分) 【復習】3歳までの保育と人間関係について整理する。	発表
5) 5) 3歳児の人間関係の育ちと保育 実習中の園児とのかかわりを人間関係の観点から整理する。 【予習】テキスト指定頁を読んでおく。(20分)	授業内課題・グループワーク
6) 6) 4歳児の人間関係の育ちと保育 【予習】テキスト指定頁を読んでおく。(20分) 【復習】4歳児の発達の特徴と援助について整理しておく。(20分)	グループワーク
7) 7) 5歳児の人間関係の育ちと保育 【予習】テキスト指定頁を読んでおく。(20分) 【復習】実習中のエピソードを記録・考察する(60分)	グループワーク
8) 8) 特別な支援を必要とする子どもの「人間関係」を支える 【予習】テキスト指定頁を読んでおく。(20分) 【復習】人間関係の育ちを支える援助について整理する(20分)	ワークシート活用
9) 9) 子どもたちの「人間関係」を育む学級経営 【予習】テキスト指定頁を読んでおく。(20分) 【復習】人間関係を育む保育者の援助について整理する。(20分)	ワークシート活用
10) 10) 異年齢のかかわりと「人間関係」・小学校への接続 【予習】テキスト指定頁を読んでおく。(20分) 【復習】幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を整理する。(20分)	ワークシート活用
11) 11) 「人間関係」の育ちを支える保護者と保育者との関係 【予習】テキスト指定頁を読んでおく。(20分) 【復習】保護者とのかかわりについて整理する。(20分)	グループワーク
12) 12) 「人間関係」の育ちを支える保育の構想 ・これまでの振り返り 【予習】指導案の構成について読んでおく。(20分) 【復習】指導案の構成を理解して指導案を構想する。(60分)	小テスト
13) 13) 「人間関係」の育ちを支える保育の構想 ・様々な人との関わり 作成した指導案を保育者の援助と環境構成から検討する。 【予習】様々な人とかかわりについて整理する。(20分)	グループワーク
14) 14) 「人間関係」の育ちを支える保育の構想 指導案検討をもとに、共同で指導案を作成する 【予習】指導案を作成する題材について考えておく(20分)	授業内課題・グループワーク
15) 15) 「人間関係の育ち」を支える保育の構想 指導案に基づいた保育について発表し、人間関係の育ちを支える 保育者の援助と環境構成について考える。	プレゼンテーション
授業外学習	
公園やスーパーなどの身近な施設での乳幼児の人とかかわりの姿を観察し・記録する。 実習時の保育(観察)について、人間関係の視点から振り返り、記録する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
・幼稚園教育要領解説(文部科学省)・保育所保育指針解説(厚生労働省)・幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説(内閣府)・保育内容「人間関係」(乳幼児教育・保育シリーズ)岩立京子・西坂小百合 2018 光生館 ・事例で学ぶ保育内容 領域「人間関係」 岩立京子・武藤藤隆 2018 萌文書林	保育内容総論、保育指導法、教育・保育カリキュラム論

課題に対するフィードバック

課題に基づいたグループワーク・話し合いを実施し、発表し合う場面を設ける。
記述課題は、検討や見直し後、再提出する。
課題及び小テストは採点・返却し、振り返りを行う。

備考

幼稚園教育要領解説（文部科学省）・保育所保育指針解説（厚生労働省）は特に指定しない限り、毎回持参すること

科目名	保育指導法（環境）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	前期			
担当者名	重村 美帆		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 本授業は、対面と遠隔で実施する。乳児期を含む幼児の発達を踏まえながら、保育内容は「養護と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）」が一体的に展開していくことを実際の保育現場における子どもの遊び場面に触れながら理解を深めていく。また、年齢や時期に即した遊び場面を想定し、様々な素材や教材（情報機器を含む）を活用した模擬保育の演習を行う。さらに、その振り返りを通して保育活動（遊び）を創る上で最も重要となる「環境を通じた教育・保育」について保育構想の向上に取り組む。保育現場の実務経験をもとに保育の指導方法について授業を行う。							
到達目標 J3202ab 1. 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において示されている保育内容（健康・人間関係・環境・表現・言葉）について総合的に関連させながら理解することができる。 2. 領域「環境」のねらい及び内容を踏まえながら実際の遊び場面を観察し、乳幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解することができる。 3. 指導案の構造を理解した上で、具体的な保育場面を想定した指導案を立案・演習し、その振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けることができる。 4. 領域「環境」に関わる周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする経験と、小学校以降の教科等とのつながりを理解することができる。			成績評価方法 定期試験 60% 授業内・外レポート 10% 演習及びグループ活動 30% による総合的評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート		○	○	○			5
宿題、授業外レポート	○			○			5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク				○	○	○	15
演習	○	○	○	○	○		15
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「環境」について 【予習】幼稚園教育要領第 2 章の領域「環境」を熟読する（30 分） 【復習】領域「環境」についての小テストを行う（30 分）	授業内レポート
2) 「モノ」とふれあう活動とは 【予習】テキスト第 2 章を熟読する（30 分） 【復習】保育における「モノ」の種類とその役割を考える（30 分）	授業外レポート
3) 保育現場の見学「物的環境を通じた遊び場面」 【予習】保育所保育指針第 2 章 3 歳以上児の保育 領域「環境」を熟読する（30 分） 【復習】物的環境に関する見学内容をまとめる（30 分）	授業外レポート
4) 「ヒト」とふれあう活動とは 【予習】テキスト第 5 章を熟読する（30 分） 【復習】保育における「ヒト」の種類とその役割を考える（30 分）	授業外レポート
5) 保育現場の見学「人的環境を通じた遊び場面」 【予習】保育所保育指針第 2 章 3 歳以上児の保育 領域「環境」を熟読する（30 分） 【復習】人的環境に関する見学内容をまとめる（30 分）	授業外レポート
6) 「コト」に関わる活動とは 【予習】テキスト第 4 章を熟読する（30 分） 【復習】保育活動（遊び）を調べる（30 分）	授業外レポート
7) 保育現場の見学「子どもを取り巻く様々な環境を通じた遊び場面」 【予習】テキスト第 6 章を熟読する（30 分） 【復習】子どもを取り巻く様々な環境について見学内容をまとめる（30 分）	授業外レポート
8) モノ・ヒト・コト」環境を通じた教育・保育とは 【予習】全 4 回の見学内容を振り返る（30 分） 【復習】グループ発表を通じた気づきや感想をまとめる（30 分）	グループディスカッション 授業外レポート
9) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と領域「環境」との関連 【予習】テキスト第 1 章を熟読する（30 分） 【復習】領域「環境」に関する指導案を作成する（30 分）	授業外レポート
10) 保育環境の構成と子どもの活動「指導計画の立て方」 【予習】幼稚園教育要領第 1 章第 4 を熟読する（30 分） 【復習】添削された指導案を再考する（30 分）	授業外レポート
11) 環境を通じた保育活動の展開「0、1 歳児の保育」 【予習】ワークシートの指導内容を理解する（30 分） 【復習】ワークシートを行う（30 分）	模擬保育演習 授業外レポート
12) 環境を通じた保育活動の展開「2 歳児の保育」 【予習】ワークシートの指導内容を理解する（30 分） 【復習】ワークシートを行う（30 分）	模擬保育演習 授業外レポート
13) 環境を通じた保育活動の展開「3、4 歳児の保育」 【予習】ワークシートの指導内容を理解する（30 分） 【復習】ワークシートを行う（30 分）	模擬保育演習 授業外レポート
14) 環境を通じた保育活動の展開「5 歳児の保育」 【予習】ワークシートの指導内容を理解する（30 分） 【復習】ワークシートを行う（30 分）	模擬保育演習 授業外レポート
15) 領域「環境」における保育の動向と保育創り 【予習】テキスト第 3 章を熟読する（30 分） 【復習】「環境を通して行う保育」について考えをまとめる（30 分）	グループディスカッション 授業外レポート
授業外学習	
<p>保育所保育指針及び幼稚園教育要領の領域「環境」を熟読してください。 11 回目以降は、個人での模擬保育演習を行います。演習に向けた指導案作成や活動に使用する保育教材等の準備、練習を行ってください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
新しい保育講座 保育内容「環境」、久保健太・高嶋景子・宮里暁美、ミネルヴァ書房	保育内容総論・保育指導法の各領域科目

課題に対するフィードバック

授業内外レポートについては、Classroomを活用し返却・解説を行う。

備考

【オフィスアワー】表を参照

科目名	保育指導法（言葉）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	竹内 幹雄	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修	

授業概要

「言葉」についての基礎知識を習得し、乳幼児期の言葉を獲得する過程を理解するとともに、言葉の育ちを支える保育者として援助や環境構成、指導計画の作成、評価・改善等基本的事項を身に付ける。また、子どもの発達に即した児童文化財の活用法を学び、保育実践に活かす力を修得する。
 保育園長の実務経験をもとに乳幼児期の言葉について授業を行う。

到達目標

- J2204ab
1. 領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。
 2. 乳幼児期の言葉の発達過程を踏まえ、言葉を育むための保育に必要な力を身に付ける。
 3. 児童文化財等（情報機器及び教材を含む）の活用法を理解した上で指導案を立案・演習し、保育を改善する視点を身に付ける。

成績評価方法

定期試験、レポート、演習などを総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 乳幼児の豊かな言葉が育つための領域「言葉」 乳幼児期にふさわしい生活の保障 領域「言葉」のねらい及び内容 【予習】テキストP1～P15を読んでおく。（20分）	
2) 乳幼児期の子どもの言葉 乳児期の言葉の発達 【予習】テキストP20～P36を読んでおく。（20分）	
3) 乳幼児期の子どもの言葉 幼児期の言葉の発達 【予習】テキストP37～P55を読んでおく。（20分）	
4) 乳幼児期の子どもの言葉 幼児期から児童期の言葉 【予習】テキストP56～P70を読んでおく。（20分）	
5) 言葉を育むための保育者のかかわり・役割 【予習】テキストP71～P83,P118～P121,P156を読んでおく。（20分）	グループワーク（保育者のかかわり）
6) 子どもの言葉を育む保育 保育環境と言葉 【予習】テキストP86～P101を読んでおく。（20分）	グループワーク（絵本や文字環境）
7) 子どもの言葉を育む保育 保育と児童文化財 【予習】テキストP51～P52,P95～97,P104を読んでおく。（20分）	演習（絵本読み聞かせの展開）
8) 遊びと生活のなかの言葉 【予習】テキストP105～P118を読んでおく。（20分）	
9) 保育の計画と評価 【予習】テキストP101～P102,P139～P154を読んでおく。（20分）	グループワーク（環境構成図作成）
10) 言葉の問題と援助 教材研究 【予習】テキストP122～P138を読んでおく。模擬保育の題材を考え必要な教材を準備する。（60分）	演習（教材研究）
11) 子どもの言葉を育む保育構想 保育指導案作成 【予習】教材研究を活かし保育指導案の構想を考える。（30分） 【復習】保育指導案を完成させる。（40分）	演習（保育指導案作成）
12) 子どもの言葉を育む保育の実践 模擬保育 【予習】発表の事前準備と練習をしておく。（40分）	演習（模擬保育）
13) 子どもの言葉を育む保育の実践 模擬保育 【予習】発表の事前準備と練習をしておく。（40分）	演習（模擬保育）
14) 子どもの言葉を育む保育の実践 模擬保育 【予習】発表の事前準備と練習をしておく。（40分） 【復習】模擬保育の振り返り（反省と課題）をしておく。（40分）	演習（模擬保育）
15) 保育の評価と改善 模擬保育の振り返り 【予習】模擬保育の振り返りをまとめておく。（20分）	グループワーク（模擬保育の振り返り）
授業外学習	
授業内容の振り返りを行い、疑問や課題を明確にして次回の授業に臨んでください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 『保育内容 言葉』秋田喜代美・野口隆子編著（光生館） 2018年	保育内容総論、保育指導法

課題に対するフィードバック

備考

【オフィスアワー】授業の前後で対応します。

科目名	保育指導法（表現）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	後期			
担当者名	久光 明美、重村 美帆		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 必修			
授業概要 子どもの発達に沿った豊かな感性や自己表現力・創造性を育てるための音・音楽環境のあり方や音楽表現活動の内容について学び、「聴く」「歌う」「動く」「奏でる」「つくる」の視点から子どもの総合的音楽表現活動の構造化と実践・展開ができるようになることを目的とする。同時に、保育者としての豊かな感性や表現力、創造性も身に付けていく。また、表現における情報機器及び教材の活用法について事例を通して学び、実際に体験することを通して、保育構想に活用できるアイデアを考え抜いていく。							
到達目標 J2202ab 1. 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において示されている保育内容（健康・人間関係・環境・表現・言葉）について総合的に関連させながら理解することができる。 2. 領域「表現」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解することができる。 3. 指導案の構造を理解し、子どもの発達に沿った具体的な保育を想定した指導案を作成、実践し、その振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けることができる。 4. 領域「表現」に関わる乳幼児が経験し身に付けて行く内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解することができる。			成績評価方法 期末定期試験、模擬保育、授業外レポート、グループ学習、課題、授業への意欲・態度による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」について【予習】保育指導法（表現 ）のシラバスを読んでおく。（30分）【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク
2) 子どもの発達と音楽表現 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク
3) 子どもの発達と聴く活動及び援助方法 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク グループワーク
4) 保育現場の見学「乳児期における音楽表現を通じた場面」【予習】子どもの発達に応じた音楽表現活動を学習しておく。（30分）【復習】子どもの音楽表現活動の理解と援助の仕方などをまとめておく。（30分程度）	グループワーク ディスカッション
5) 保育現場の見学「乳児期における音楽表現を通じた場面」 【予習】子どもの発達に応じた音楽表現活動を学習しておく。（30分） 【復習】観察を振り返り、観察シートを記入し、提出する。	グループワーク ディスカッション
6) 子どもの発達と歌う活動及び援助方法 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク グループワーク
7) 子どもの発達と奏でる活動及び援助方法 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク グループワーク
8) 子どもの発達と動く活動及び援助方法 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク グループワーク
9) 子どもの発達とつくる活動及び援助方法 【予習】教科書を読んでおく。（30分） 【復習】その日の授業内容の重点を確認する。（30分）	個人ワーク グループワーク
10) 保育環境の構成と子どもの活動「指導計画の立て方と模擬保育の進め方」 【予習】音楽表現の指導方法について考え、指導案を立案しておく。（30分） 【復習】立案した指導案の改善点を見つけ、再検討し、立案しなおす。	個人ワーク グループワーク
11) 音楽表現を通じた保育活動の展開「0、1歳児の保育」 【予習】0、1歳児の音楽表現などについて学習しておく。（30分） 【復習】模擬保育を振り返り、ワークシートを記入し、提出する。（30分）	個人ワーク グループワーク
12) 音楽表現を通じた保育活動の展開「2歳児の保育」 【予習】2歳児の音楽表現などについて学習しておく。（30分） 【復習】模擬保育を振り返り、ワークシートを記入し、提出する。（30分）	個人ワーク グループワーク
13) 音楽表現を通じた保育活動の展開「3、4歳児の保育」 【予習】3、4歳児の音楽表現などについて学習しておく。（30分） 【復習】模擬保育を振り返り、ワークシートを記入し、提出する。（30分）	個人ワーク グループワーク
14) 音楽表現を通じた保育活動の展開「5歳児の保育」 【予習】5歳児の音楽表現などについて学習しておく。（30分） 【復習】模擬保育を振り返り、ワークシートを記入し、提出する。（30分）	個人ワーク グループワーク
15) 領域「表現」における音楽に関する保育の動向と保育創り 【予習】これまでの模擬保育について振り返りをしておく。（30分） 【復習】「音楽表現を通じた保育」についてまとめる。（30分）	個人ワーク グループワーク
授業外学習	
テキストや配布資料は復習する。 授業で取り上げた子どもの歌は、練習し暗譜をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どもの発達と音楽表現」（学文社）2020年、「子どものための音楽表現技術」（萌文書林）2018年、「保育所保育指針解説」厚生労働省、「幼稚園教育要領解説」文部科学省、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省、 適宜プリント配付	子どもの音楽 子どもの音楽 子どもの音楽 子どもの音楽 保育内容総論

課題に対するフィードバック

- ・指導案を添削し、加筆、修正をして返却をし、個人指導を行なう。
- ・提出したワークシートにコメントをつけて返却する。

備考

- ・音楽表現活動に積極的に参加してください。
- ・楽譜や配布資料を整理保管してください。
- ・グループ活動では、自分の意見を持ち他者の意見も受容し、自分の役割を果たしてください。

科目名	保育指導法（表現）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	前期			
担当者名	原井 輝明、重村 美帆		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 乳幼児のかく活動・つくる活動の発達段階を知るとともに、豊かな感性や表現力を育てるための教材研究やそれに伴う指導方法などを理解する。また、子どもを取り巻く環境に興味や関心を持たせ、身近なものや自然を取り入れ、遊びを発展させていく指導方法について学ぶ。そして、子どもの視座に立ち、結果より過程を大切に表現感を身につける。							
到達目標 J3201ab ・保育内容の他領域と関連させながら総合的に理解することができるようになる。 ・表現のねらいと内容を理解し、発達段階、乳幼児画の特徴を把握する。 ・表現の実践や指導案の立案ができる。 ・乳幼児の発達段階や表現に応じて、材料の工夫や用具の使い方が指導できるようになる。			成績評価方法 定期試験、課題（レポート・提出物）、授業への意欲・態度による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							20
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 子どもの視座に立った造形：「遊びを中心にした表現観・幼児の心のみとり」 【予習・復習】指導案作成及び授業の復習（240分）	
2) 1) 乳幼児造形表現の理解：「かく・つくるの発達段階」 発達段階における特徴・個人差について知る 【予習・復習】事前に教科書に目を通す（60分）	グループワーク
3) 3) 乳幼児画の特徴：「自然発生的表現としてうけとめる」 【予習・復習】事前に教科書に目を通す（60分）	グループワーク
4) 表現のねらいと内容：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」（造形表現）について 【予習・復習】事前に教科書に目を通し、復習（60分）	
5) 5) 保育現場の見学に備えて：「乳幼児期の製作あそび」の観察ポイント 【予習・復習】復習（60分）	
6) 6) 保育現場の見学：「幼児期の製作あそび」 【予習・復習】見学後のレポート課題（210分）	レポート
7) 7) 造形教育の方法：「材料・用具（情報機器を含む）の扱いについて」 【予習・復習】復習（60分）	
8) 8) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と領域「表現（造形表現）」との関連 【予習・復習】事前に教科書に目を通し、復習に（60分）	
9) 9) 保育環境の構成と子どもの活動「指導計画の立て方」と模擬保育の進め方 【予習・復習】模擬保育の準備（300分）	
10) 10) 表現を通した保育活動の展開「0・1歳児の保育」 【予習・復習】模擬保育のワークシート記入（90分）	グループワーク ワークシート
11) 11) 表現を通した保育活動の展開「2歳児の保育」 【予習・復習】模擬保育のワークシート記入（90分）	グループワーク ワークシート
12) 12) 表現を通した保育活動の展開「3歳児の保育」 【予習・復習】模擬保育のワークシート記入（90分）	グループワーク ワークシート
13) 13) 表現を通した保育活動の展開「4歳児の保育」 【予習・復習】模擬保育のワークシート記入（90分）	グループワーク ワークシート
14) 14) 表現を通した保育活動の展開「5歳児の保育」 【予習・復習】模擬保育のワークシート記入（90分）	グループワーク ワークシート
15) 15) 領域「表現」（造形表現）における保育動向と保育創り 【予習・復習】模擬保育のワークシート作成及びファイル作成（240分）	ワークシート
授業外学習	
<p>毎回次に取り組み教科書の範囲を事前に読み込んでおくこと。 ・模擬保育の際は、グループワーク後、ワークシートを完成させ、翌日提出してもらいます。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>「新訂 事例で学ぶ保育内容 領域 表現」無藤隆監修、浜口順子編（萌文書林） 「幼稚園教育要領」（文部科学省） 「保育所保育指針」（厚生労働省） 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府）</p>	<p>子どもの造形 ~ 保育指導法</p>

課題に対するフィードバック

レポートやワークシートは翌週にコメントをつけて返却する

備考

保育の現場に立つという気持ちと毎回の授業で大切なポイントをつかむこと。
【オフィスアワー】原井輝明：harai (アットマーク) ube-c.ac.jp

科目名	教育原理			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

本講義では、教育の思想や歴史、学校教育を中心とした教育のしくみ、教育と社会との関係等について学修し、現代の教育という事象全般についての理解を深めること、また、教育組織の成員として適正な知見を得ることを目標とする。特に、歴史的な視点を通して教育の成立過程やその背景を理解することを通じて、現代における教育の意義・意味についての理解をすすめ、教育にみられる課題や社会における教育の役割、また、そのあり方等、教育の各事象について考えることのできる基盤を培うことを目指す。

到達目標

J1102abg

- ・ 教育の意義、教育の目的、教育の制度について理解する。
- ・ 教育の思想と歴史的変遷について学び、現代の教育についての理解・考察ができるようになる。
- ・ 教育組織の運営に関して配慮すべき要素を理解する。
- ・ 現代社会における教育の現状と教育の課題について理解する。

成績評価方法

成績評価方法

- 定期試験 80%
- 提出物・受講状況 20%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 第1回：オリエンテーション - 本講義の計画と目指すところ、および留意事項【予習・復習】シラバスを確認し、ノートの作成等、受講に必要なと思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。	
2) 第2回：教育の意義と目的 - 人間社会における「教育」の意味と目的【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
3) 第3回：子ども観と教育 - 子ども期の発見、児童中心主義など【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	資料映像視聴 ディスカッション レポート課題
4) 第4回：教育思想史と幼児教育 - 近・現代の人物とその思想【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
5) 第5回：学校の成立と展開(1) - 学校教育の成り立ちとその社会的意義【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
6) 第6回：学校の成立と展開(2) - 日本における学校教育制度の変遷【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
7) 第7回：学校教育の内容 - 幼稚園教育要領、保育指針、認定こども園要領の概要とカリキュラム【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返ってみる。	
8) 第8回：学校運営の諸課題(1) 組織マネジメント、連携・協働（地域、幼保小など）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
9) 第9回：学校運営の諸課題(2) 安全・安心を担保するために【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
10) 第10回：教育・保育をめぐる制度(1) - 教育法規と教育行政【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
11) 第11回：教育・保育をめぐる制度(2) - 子ども・子育て支援新制度を中心に【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
12) 第12回：教職と教員養成 - 教員養成制度の歴史と制度【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
13) 第13回：生涯学習社会と教育 - 「学び」の充実・多様化、キャリアアップと教育【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
14) 第14回：現代社会と教育 - 変化する地域・家庭と教育【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
15) 第15回：総括 - 変わる社会、これからの教育【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
授業外学習	
0	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト> 「子どもと教師のための教育原理」石田美清編著（保育出版社） <参考書> 「幼稚園教育要領解説」、「保育所保育指針解説書」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」、「保育福祉小六法」みらい、「文部科学白書」、山崎博敏編著「教育の制度と社会」協同出版。その他、講義中において適宜紹介する。</p>	<p>保育原理 教育・保育職論 教育・保育カリキュラム論</p>

課題に対するフィードバック

提出物に関しては講義中にピックアップしてコメントする

備考

「教育」という事象に対し、日常的に関心を寄せること。
また、教育専門職に就くための学習科目として、受講の態度と主体的学習の姿勢を重視する。
【オフィスアワー】「オフィスアワー一覧」に掲載。まとまった質疑、相談等については、事前アポイントをとること。

科目名	教育・保育職論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	伊藤 一統		関連する資格				
授業概要 教育・保育に関する様々な問題状況に関心を持ち、教職員となる自分自身の役割、社会的責任および、教職や保育職の専門性、また、それらの前提となる社会人としての姿勢などについて学ぶ。							
到達目標 J2301ab 制度面をはじめ、教員・保育者に必要な基本的な知識をえること。 今まで、そして今も「受ける」立場にあるところから「行う」立場の教員・保育者としての姿勢について考えることができること。 保育園（所）や幼稚園のさまざまな実態を知り、教育・保育の職にある者が担うべき役割・あるべき姿と課題について考えることができること。				成績評価方法 定期試験 80% 提出課題等 20%			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (1) オリエンテーション 受講上の留意点と学習姿勢について 【予習・復習】シラバスを確認し、ノートを作成等、受講に必要と思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。	
2) (2) 保育士、教員とは何かを考える(1) 「働く」ということと保育 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
3) 保育士、教員とは何かを考える(2) 語られる教員像、現場の求める保育者像 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返ってみる。	
4) (4) 幼稚園・保育所の一員としての保育者の在り方 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
5) (5) 信頼される保育者、教育者として 志向、倫理・規範 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
6) (6) 保育者の仕事について考える(1) 日々の保育とクラスの運営 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみる。	
7) (7) 保育者の仕事について考える(2) 園・所の管理運営、行事への対応 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返ってみる。	
8) (8) 学校教育・保育職に関する制度【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
9) (9) 教育・保育職の養成とキャリアアップ 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
10) (10) 現代の保育・教育と課題(1) 保護者・地域との関わり、連携・協働 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返ってみる。	
11) (11)現代の保育・教育と課題(2) 保幼小連携、保育需要をめぐる課題への対応【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返ってみ	
12) (12)現代の保育・教育と課題(3) 子ども・子育て支援新制度と教育・保育職の今後 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示したテキストや資料の内容を振り返る	
13) (13) 保育職のあるべき姿(1)子どもの最善の利益を優先する保育者であるために 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容を振り返って	
14) 保育職のあるべき姿(2)よい保育を実現するために - 組織の中の役割・責任と行動 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示したテキストや資料の内容を振り返る	
15) 15)まとめ 信頼される存在になるために - プロとしての保育者の資質 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみる	
授業外学習	
0	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト> 「プロとしての保育者論」上野恭裕編著 (保育出版社)</p> <p><参考書> 「学校文化の社会学」、「幼稚園教育要領解説」、「保育所保育指針解説書」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、「保育福祉小六法」</p>	<p>教育原理、保育原理、教育・保育カリキュラム論、教育実習、保育所実習、各実習指導、保育・教職実践演習</p>

課題に対するフィードバック

提出物に関しては講義中にピックアップしてコメントする

備考

受講の心得> 講義の趣旨のひとつが教育・保育職にある者としての姿勢を問うものであることから、受講に際しても、そのことを踏まえた「姿勢」を体现することを求める。
【オフィスアワー】「オフィスアワー一覧」に掲載。まとまった質疑、相談等については、事前アポイントをとること。

科目名	教育と保育の心理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	甘 麻乃		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許状 必修 社会福祉主事任用資格 選択			
授業概要 子どもの発達及び学びの過程について心理学の知識をもとに理解する。保育者として発達をとらえる視点を獲得し、子どもの主体的な学びを支える援助について理解する。 福祉現場の実務経験をもとに、子どもの発達についての授業を行う。							
到達目標 J2101ab 1．子どもの心身の発達の過程及び特徴を理解する。 2．子どもの学びに関する基礎的な知識を習得する。 3．発達をふまえた学びを支える援助の基本を理解する。			成績評価方法 ・定期試験(70%) ・小テスト(20%) ・毎回のコメントシート(10%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 子どもの発達を理解することの意義 【予習・復習】実習や授業で観察した子どもの姿を整理する(120)	個人ワーク
2) 子どもの発達と環境 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
3) 発達理論と子ども観・保育観 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
4) 乳児期の社会情動的発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
5) 幼児期の社会情動的発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
6) 身体的機能と運動機能の発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	小テスト
7) 認知機能の発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
8) 乳児期の言葉の発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
9) 幼児期以降の言葉の発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
10) 社会性の発達 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
11) 乳幼児期の学びに関わる理論 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	小テスト
12) 乳幼児期の学びの過程と特性 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
13) 乳幼児期の学びを支える保育 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
14) 子どもの発達・学びの評価 【予習・復習】配布プリントを整理し、授業の内容を振り返る(120)	
15) まとめ 【予習・復習】授業全体を振り返る(120)	個人ワーク
授業外学習	
2)～5)について6)、6)～10)について11)に小テストを実施します。復習してきてください。自身の経験を振り返ったり、周りにいる人たちとよくコミュニケーションをとったりしてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業時にプリントを配付します。	子ども理解の理論と方法 子ども家庭支援の心理学

課題に対するフィードバック

コメントシートをまとめたものを、次回の授業の最初に配布しコメントする。小テストは添削し、返却する。

備考

毎回の授業後にコメントシートを記入してもらいます。授業で自身が何を学んだか・疑問点を記入してください。
【オフィスアワー】オフィスアワーの掲示を確認ください。

科目名	特別支援教育・保育概論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2	2年	前期			
担当者名	岡本 実		関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭資格 必修			
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や幼稚園、児童発達支援センターなどにおける障害児保育の意義を知り現状を把握する。 ・ 特別な支援を必要とする子どもの障害の特性、支援の方法、環境の在り方について、具体的かつ実践的に学習する。 ・ 保育所や知的障害児通園施設、児童発達支援センターなどにおける障害児保育の実務経験をもとに授業を行います。 							
到達目標 J3203ab ・ 障害をもつ子どものライフステージを知り、ライフステージの各段階における支援や社会資源を理解する。 ・ 幼児期の支援 - 障害児保育 - の現状と課題について理解し、関係機関との連携や家族への支援、地域への参加について学ぶ。 ・ 発達期の障害（発達障害）に関する基礎的な理解をもち、発達障害児の保育指導、発達支援についての知識と技術を習得する。			成績評価方法 受講態度、提出物、試験などにより総合的に評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：演習の概要，障害の社会モデル 【予習】障害者基本法等の障害者の定義について予習の事（30分） 【復習】社会モデルや乳幼児期の支援と合理的配慮について復習（30分）	障害の社会モデルと合理的配慮についてのディスカッション
2) 障害児（統合）保育の歴史と現状、課題 【予習】テキスト等で障害児保育の現状と課題について予習の事（30分） 【復習】インクルージョン等の意義について復習する（30分）	障害児保育を支える理念についてのディスカッション
3) 関係機関との連携と保護者支援 【予習】親の手記などを読み、親の心情を理解する（30分） 【復習】グループワークでの学びを整理する（30分）	グループワーク：親の手記等から親の心情の理解と援助について考察
4) 小学校との連携と就学指導：障がいのある児童の教育の歴史，就学指導 【予習】障害のある児童の就学の場や特徴について予習の事（30分） 【復習】就学指導についてワークシートを用いて整理する（60分）	就学指導についてのディスカッション
5) 障害児保育の実際：保育所や専門施設における障害児保育の実際 【予習】各機関における障害児保育について予習の事（30分） 【復習】各機関の障害児保育の特色等についてまとめること（30分）	
6) 知的障害の理解と援助：主な知的障害と配慮事項（ダウン症候群を中心に） 【予習】テキスト（p100-p116）を読んでポイントを整理する（30分） 【復習】知的障害の特徴と配慮点をまとめる（30分）	
7) 自閉症スペクトラム障害の理解と援助 【予習】自閉症の研究史，診断基準等について確認しておくこと（30分） 【復習】ASD児の障害の特性と配慮事項について復習すること（60分）	自閉症の障がい体験とディスカッション
8) ASD児の理解と援助：TEACCHに学ぶ，支援の基本原則，支援ツールの作成 【予習】ワークシートを確認しておく（30分） 【復習】自閉症児支援ツール作成上のポイントを整理する（30分）	自閉症児のストレングスに着目した支援ツールの作成（グループワーク）
9) てんかんのある子どもの理解と援助：定義と分類，Epi発作時の対応 【予習】紹介した関連サイトを閲覧し，事前学習を行う（30分） 【復習】Epiの発作時の対応と生活指導についてまとめること（30分）	てんかん発作時の対応，映像視聴とディスカッション
10) 運動障害の理解と援助：主な運動障害，重心と医ケア児の理解と援助 【予習】テキスト（p90-p99）を読んでポイントを整理する（30分） 【復習】運動障害の特徴と配慮点についてまとめる（30分）	
11) コミュニケーション障害の理解と援助 【予習】テキスト（p84-p90）を読んでポイントを整理する（30分） 【復習】コミュニケーション障害の特徴と配慮点についてまとめる（30分）	
12) 障害をもつ子どもの生活指導：障害の特性に応じた生活指導のポイント 【予習】幼児期の身辺自立の発達について関連書籍に眼を通す（30分） 【復習】障害の特性に応じた生活指導や援助についてまとめる（30分）	
13) 障害をもつ子どものアセスメント（グループワーク） 【予習】保育活動におけるアセスメントの役割について事前学習（30分） 【復習】GWの振り返りを行い，アセスメント実施上のポイントを整理する（30分）	発達検査の実施と検査結果の解釈（グループワーク）
14) 保育計画作成演習（グループワーク）：事例を基に障害児保育の計画を考える 【予習】テキスト（p61-p68）読んでポイントを整理する（30分） 【復習】GWの振り返りを行い保育計画作成上のポイントを整理する（30分）	保育計画の作成（グループワーク）
15) まとめ 【予習】障害児保育の保育者の役割について考えを整理する（30分） 【復習】演習の振り返りを行い，演習の学びをまとめる（60分）	
授業外学習	
テキストの該当箇所を事前に熟読して授業に臨むこと。 適宜配布する予習課題（ワークシート）に取り組んだうえで授業に臨むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「障害のある子どもの保育・教育の実践」中山智哉編著（2022）（学文社） 参考書はその都度紹介します	障害者福祉、障害児の発達援助法

課題に対するフィードバック

ワークシート等の課題は翌週にコメントをつけて返却します。

備考

意欲的に取り組むこと、配布資料は必ずファイルしておくこと。
【オフィスアワー】授業の前後で対応します。

科目名	教育・保育カリキュラム論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	徳永 良枝	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修	

授業概要

- ・乳幼児期の生活を充実させ発達を促すための「保育」、その基本となる教育課程や保育課程について学ぶ。
- ・指導計画作成について、教育・保育課程編成の基本を踏まえ、理解と実践の両面からアプローチしていく。
- ・幼児教育に関わる実務経験をもとに現場での実践（保育）事例を踏まえ、指導計画と関連づけながらより理解を深めるよう授業を行う。

到達目標

J2201ab
一人一人の育ちを保障する保育とは何かを追求し、計画と評価の必要性について理解する。
教育課程および保育課程の意義とその編成方法を学び、実践を想定した指導計画の基本を理解する。

成績評価方法

定期試験
レポート
受講状況（授業への意欲・態度）など
総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○		○			10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保育の基本 保育のねらいと内容（教育と養護） 【予習・復習】テキストとシラバスの内容確認（60分）	授業内レポート
2) 教育課程と保育課程 教育課程・保育課程の必要性、種類と役割 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）	授業内レポートに関わる質疑応答
3) P D C A サイクルに基づいた指導計画 教育課程・保育課程の循環性（保育の流れと指導計画） 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）	授業内レポートに関わる質疑応答
4) 教育課程・保育課程の編成 教育課程・保育課程編成の基本 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）	授業内レポートに関わる質疑応答
5) 教育課程・保育課程の歴史 幼児教育の変遷（幼稚園教育要領・保育所保育指針） 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）	授業内レポートに関わる質疑応答
6) 教育課程と保育課程 指導計画の構成 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）	授業内レポートに関わる質疑応答
7) 教育課程と保育課程 内容をとらえる視点（五領域との関連） 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）	授業内レポート 演習
8) 指導計画の実際 指導計画作成のポイント（配慮すべき事項） 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）	授業内レポートに関わる質疑応答
9) 指導計画の実際 育ちの姿を読み取る（3歳未満児） 【予習・復習】3歳未満児の発達についての理解（90分）	授業内レポート 演習
10) 指導計画の実際 発達理解と指導計画（3歳以上児） 【予習・復習】3歳以上児の発達についての理解（90分）	授業内レポート 演習
11) 指導計画の実際 協同性の育ちをとらえた指導計画 【予習・復習】協同性を育てる遊びについての理解（90分）	授業内レポート 演習
12) 小学校教育との連携 アプローチカリキュラムとスタートカリキュラム 【予習・復習】実際の教育課程の理解（90分）	授業内レポートに関わる質疑応答
13) 指導計画作成の実際 明日につながる指導計画（長期指導計画との整合性） 【予習・復習】実際の指導計画の理解（90分）	授業内レポート 演習
14) 指導計画作成の実際 指導計画作成のチェックリスト 【予習・復習】実際の指導計画の理解（90分）	授業内レポート 演習
15) 教育課程・保育課程の再編成 評価と改善（教育課程・保育課程の見直し） 【予習・復習】テキストとレジユメの内容確認（90分）	自己評価レポート
授業外学習	
<p>授業計画に従い、テキストの該当単元を熟読していただくこと。 授業の振り返りで各自の疑問や課題を明確にし、講義資料やテキストを復習すること。 新聞やニュースなどで幼児教育の動向に関心を持ち、目的意識を高めること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
就学前教育の計画を学ぶ 松村和子 近藤幹生 椋島香代著（ななみ書房）	保育内容（五領域） 保育内容総論 子どもとあそび 保育原理

課題に対するフィードバック

授業での小レポートにより理解度を確認、疑問点などの対応を行う。

備考

科目名	教育の方法と技術						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2年	前期			
担当者名	伊藤 一統		関連する資格				
授業概要 教授 - 学習活動に関する基本的な理論・事項について幼児の実態に即して理解するとともに、教授活動のために必要な知識・技能、また、教育環境の充実に必要な知見や技法について学び、それらを活用した教育活動ができるようになることを目標とする。特に ICT や視聴覚機器については、基本的な理解を中心として、それらを実際の幼児教育で活用する際に必要となるミニマムの知識や技術の習得を図る。							
到達目標 J3205a ・教育・保育活動において子どもたちの動き・意識に配慮した指導法を考え、実践することができる。 ・より効果的かつ質の高い教育・保育活動を行うためにメディアを適切かつ有効に用いることができる。			成績評価方法 定期試験 50%、課題・提出物・ワーク等 50%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							5
演習							5
実習							5

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 第 1 回：オリエンテーション 講義の概要および受講に際する留意点等の説明【予習・復習】シラバスを確認し、ノートの作成等、受講に必要なと思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。	
2) 第 2 回：「教える」ということ～その理論 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
3) 幼児期の教育の理解(1)～要領・指針に示された幼児教育【予習・復習】「教育要領解説」、「保育指針解説書」、「認定こども園要領」における関係個所に目を通しておくこと。講義中で示したテキストや資料の内容を振り返ってみること。	
4) 第 4 回：幼児期の教育の理解(2)～幼児期の発達特性と教育の在り方 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
5) 第 5 回：教育の方法のポイント(1)～指導計画の作成 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
6) 第 6 回：教育の方法のポイント(2)～教材研究の意義 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
7) 第 7 回：教育の方法のポイント(3)～学びを構成する技術・方法 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
8) 第 8 回：環境の構成と保育の形 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
9) 第 9 回：学習評価の理論と方法 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
10) 第 10 回：情報化社会とメディア・リテラシー～メディアに対して必要な態度・知見【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
11) 第 11 回：保育・教育とデジタル・メディア～現状と課題 【予習・復習】最新のデジタル技術等について、関心をもって接すること。講義中に出された課題に取り組むこと。	
12) 第 12 回：保育・教育実践への活用～画像処理の方法とデジタル教材の作成・活用 【予習・復習】前回の講義内容について理解を図ること。講義中に出された課題に取り組むこと。	演習・実習・GW
13) 第 13 回：保育・教育活動を支援する ICT～情報の蓄積と共有の方法 【予習・復習】前回の講義内容について理解を図ること。講義中に出された課題に取り組むこと。	
14) 第 14 回：ICT 時代の保育・教育と子どもと保育・教育現場で必要とされる情報活用能力【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
15) 第 15 回：子どもの育ち・学びのために～小学校や地域等との連携・協働の重要性と方策【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
授業外学習	
0	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト> 師岡章編著『幼児教育の指導法』放送大学教育振興会、阿部正平ほか『保育者のためのパソコン講座』</p> <p><参考図書・資料> 幼稚園教育要領（平成 29 年改訂）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成 29 年告示）、幼稚園教育指導資・指導計画の作成と保育の展開（平成 25 年 7 月改訂）のほか、適宜、資料を配布する。</p>	<p>情報機器の操作 保育指導法の各講義</p>

課題に対するフィードバック

提出物に関しては講義中にピックアップしてコメントする

備考

<注意>「努力した」は認められない。確実な「理解」と「学修」が望まれる。
【オフィスアワー】「オフィスアワー一覧」に掲載。まとまった質疑、相談等については、事前アポイントをとること。

科目名	子ども理解の理論と方法						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	前期			
担当者名	廿 麻乃		関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修			
授業概要 子ども理解を深めるための保育者の姿勢を理解する。子どもの内面の理解をするための様々な視点について、観察・記録・話し合いを通して学ぶ。							
到達目標 J1106ab ・子ども理解についての考え方や基礎的態度を理解する。 ・子ども理解の方法を具体的に理解する。 ・子ども理解に基づく保育者の援助や態度の基本について理解する。				成績評価方法 観察記録（30％） ディスカッションへの参加（20％） 定期試験（50％）			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 子ども理解の意義 【予習】これまで関わった子どもの姿を思い出す（30） 【復習】子ども理解についての考え方を理解する（30）	
2) 子ども理解のための保育者の姿勢（1）子どもを「みる」ということ 【予習】事例を読む（30） 【復習】見ると観察の違いを知る（30）	個人ワーク
3) 子ども理解のための保育者の姿勢（2）事例から考えること 【予習】事例を読む（30） 【復習】事例を考えることで得られること（30）	個人ワーク
4) 子ども理解の方法（1）観察の方法 【予習・復習】観察の意義や目的を知る（60）	
5) 子ども理解の方法（2）記録の方法 【予習・復習】目的に応じた観察の方法について知る（60）	
6) 子ども理解の方法（3）遊びの場面 【予習】子どもの遊びの意義について考える（30） 【復習】観察記録の作成（30）	観察
7) 保育者として学び合うこと 【予習・復習】保育者間の連携や学び合いについて考える（45）	グループディスカッション
8) 子ども理解の方法（4）生活の場面 【予習】基本的な生活習慣について調べる（30） 【復習】観察記録の作成（30）	観察
9) 発達の姿をとらえること 【予習・復習】発達の課題に応じた関わりについて考える（60）	グループディスカッション
10) 子ども理解の方法（5）クラス活動の場面 【予習】発達過程について調べる 【復習】観察記録の作成（各30）	観察
11) 子どもの学びの姿をとらえること 【予習・復習】集団における経験・育ちについて考える（60）	グループディスカッション
12) 子ども理解の方法（6）「気になる子ども」について 【予習】「気になる子ども」とはどのような子どもか調べる（30） 【復習】観察記録の作成（30）	観察
13) 家庭との連携 【予習・復習】家庭との連携の重要性・あり方について考える（60）	
14) 子どもにとっての教育・保育 【予習・復習】教育・保育を行う環境について考える（60）	グループディスカッション
15) まとめ 【予習・復習】子ども理解に基づく保育者の援助や態度について考える（60）	
授業外学習	
観察後には各自観察記録を書きます。 自身がどのような視点で人や物事をみているか意識して生活してみてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜、資料を配付します。 （参考書） 幼稚園教育要領解説書、保育所保育指針解説書、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、「子ども理解と保育実践」萌文書林（2013）	教育と保育の心理学 子ども家庭支援の心理学 教育相談の理論と方法

課題に対するフィードバック

グループワーク中に適宜コメントをする。観察記録にコメント等つけて返却をする。

備考

現場での観察を通して学びます。観察日の服装や観察者としての態度などに気を付けてください。また、観察したことや自分の意見を周りの人に伝えること、他の人の意見を聞くことも学びです。
【オフィスアワー】オフィスアワーの掲示を確認ください。

科目名	教育相談の理論と方法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 選択	

授業概要

教育相談に関する基礎的知識と方法について理解する。
病院や老人保健施設での実務経験をもとに、対人援助における対象理解や基礎的な技法について授業を行う。
本授業は対面により実施する。

到達目標

- ナンバリング (J4102ab)
- 1.教育相談の意義と理論を理解できる。
 - 2.教育相談を進める際に必要な基礎的知識を説明できる。
 - 3.教育相談の進め方やポイントについて理解し説明できる。

成績評価方法

定期試験、提出物により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション 【予習】幼稚園における教育相談の現状について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
2) 2) 学校現場における教育相談の意義 【予習】幼稚園教育要領の子育て支援に関する記述を読む（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
3) 3) 保育に求められるカウンセリング・マインド 【予習】カウンセリングの概要について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト
4) 4) カウンセリングの基礎的な姿勢と技法 【予習】「傾聴」について調べる（30分） 【復習】演習を振り返り技法のポイントを整理する（30分）	小テスト グループワーク
5) 5) カウンセリングの基礎的な姿勢と技法 【予習】「効果的な質問」について調べる（30分） 【復習】演習を振り返り技法のポイントを整理する（30分）	小テスト グループワーク
6) 6) カウンセリングの基礎的な姿勢と技法 【予習】「感情の反映」について調べる（30分） 【復習】演習を振り返り技法のポイントを整理する（30分）	小テスト グループワーク
7) 7) カウンセリングの基礎的な姿勢と技法 【予習】「内容の反映」について調べる（30分） 【復習】演習を振り返り技法のポイントを整理する（30分）	小テスト グループワーク
8) 8) 基礎的対人関係について 【予習】「自己覚知」について調べる（30分） 【復習】自分自身の対人関係の持ち方や考えを整理する（30分）	小テスト グループワーク
9) 9) 教育相談の進め方・ポイント 【予習】幼稚園における教育相談の事例を検索する（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
10) 10) 教育相談の事例分析 【予習】幼稚園における教育相談の事例を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
11) 11) 教育相談の事例分析 【予習】幼稚園における教育相談の事例を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
12) 12) ロールプレイ1回目 【予習】カウンセリング技法、面接時の態度について再確認する（30分） 【復習】模擬面接を振り返り自身の課題を整理する（30分）	小テスト グループワーク
13) 13) ロールプレイ2回目 【予習】カウンセリング技法、面接時の態度について再確認する（30分） 【復習】模擬面接を振り返り自身の課題を整理する（30分）	小テスト グループワーク
14) 14) 援助者のメンタルヘルス 【予習】保育者とメンタルヘルスの関係について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
15) 15) まとめ 【予習】これまでの学習内容を確認する（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）	
授業外学習	
毎回の授業内容を復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回レジュメを配布する。	子ども家庭支援論、子育て支援、子ども理解の理論と方法

課題に対するフィードバック

グループワークに対し適宜コメントを述べる。

備考

科目名		教育実習指導					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	通年(前期)			
担当者名	徳永 良枝、久光 明美、河村 靖彦 、甘 麻乃、重村 美帆	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修				
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> 限られた期間の中で実りのある望ましい教育実習ができるように幼児教育への理解を深め、教育実習についての総論学習を行う。 教育実習の意義や目的、内容、方法を学び、実習計画の立案、実習記録の作成など実習に必要な技術・技法について、演習を中心とした実践的な指導法を修得する。 各担当は、教育現場それぞれの実務経験を活かし、教育実習に必要な基礎的な知識や技能を修得するための授業を行う。 							
到達目標 ナンバリング (J1402a) 学習した理論を、実習による保育現場で実践し具体化していくための意識を高める。 幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領を学びつつ、保育の専門職としての知識や理論、技術等の基礎を修得する。 実習の目的や意義を明確にし、実習計画や指導案作成を通し、幼児教育への理解を深める。			成績評価方法 授業内レポート 授業外レポート グループワーク 模擬保育演習				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○				30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○				10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 全実習オリエンテーション 観察実習から本実習までの流れ 実習書類作成について 【予習・復習】実習のしおりによる実習全体計画の把握（90分）	
2) 教育実習の意義と目的について 保育専門用語の基礎 教育実習園希望先調査等 【予習・復習】保育専門用語の確認（90分）	授業外レポート
3) 付属幼稚園実習について （特別講座） 実習に必要な心構え 【予習・復習】付属幼稚園実習に向けて、レポート作成（90分）	授業外レポート
4) 付属幼稚園実習に向けて 実習計画作成 日誌・部分実習指導案の書き方 【予習・復習】実習計画作成 指導案作成に向けての準備（120分）	授業外レポート グループワーク
5) 付属幼稚園見学実習 記録の取り方・・・環境の構成 援助のあり方、幼児のかかわりなど 【予習・復習】付属幼稚園観察記録及び分析（120分）	授業外レポート
6) 指導案に基づく模擬保育・グループ演習 ねらいと教材研究 保育者の援助のあり方 【予習・復習】指導案作成及び教材研究（120分）	模擬保育演習 グループワーク
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な書類は電子ファイルに記入するため、Microsoft OfficeのWordとExcelの使い方に慣れておくこと。 ・提出物はGmailを使って提出するため、Gmailの使用可能な環境を整え、使い方に慣れておくこと。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
実習のしおり（大学作成の手引書） 幼稚園教育要領（文部科学省） 幼稚園教育指導資料 ～（文部科学省）	教育実習

課題に対するフィードバック

- ・実習事前準備については、作成した実習ファイルを確認し、疑問などへの対応を行う。
- ・提出された課題にはコメントを入れて返却し、実習に対する意欲を高める。

備考

科目名	教育実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	通年(後期)
担当者名	徳永 良枝、久光 明美、河村 靖彦 、甘 麻乃、重村 美帆	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

- ・ 5日間の付属幼稚園での教育実習について振り返り、幼児教育の意義や目的を確認する。
- ・ 日誌などの提出物から実習に対しての自己評価を行い、実践に関わる知識や技能をより一層高める。
- ・ 2年生との実習報告会により、情報交換などを通して教育実習への期待を高める。
- ・ 各担当は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談などで実習を振り返ることを通して、幼児教育の重要性を認識するよう授業を行う。

到達目標

ナンバリング (J1402a)

学習した理論を実習による保育現場で実践し、具体化していくための意識を高める。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領を学びつつ、保育の専門職としての知識や理論、技術等の基礎を修得する。実習の目的や意義を明確にし、実習計画や指導案作成を通して幼児教育への理解を深める。

成績評価方法

授業内レポート
授業外レポート
グループワーク
模擬保育演習

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○				30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○	○	20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 付属幼稚園実習事後指導 実習振り返りと課題の明確化 【予習・復習】実習振り返りレポート作成（90分）	授業外レポート 個人面談
2) 1・2年生合同授業 実習合同報告会 事後指導 【予習・復習】実習報告会資料作成（120分）	授業外レポート グループワーク
3) 教育実習の心得について 1年次の実習振り返り 自己課題評価表作成 【予習・復習】自己評価（60分）	授業外レポート
4)	
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な書類は電子ファイルに記入していくため、Microsoft OfficeのWordとExcelの使い方に慣れておくこと。 ・提出物はGmailを使って提出するため、Gmailの使用可能な環境を整え、使い方に慣れておくこと。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
実習のしおり（大学作成の手引書） 幼稚園教育要領（文部科学省） 保育所保育指針（厚生労働省） 認定こども園教育・保育要領 （内閣府・文部科学省・厚生労働省） 幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省）	教育実習

課題に対するフィードバック

- ・実習事前事後には、実習ファイルをもとに面談を行い、疑問などへの対応を行う。
- ・提出された課題にはコメントを入れ返却し、実習に対する意欲を高める。

備考

科目名		教育実習指導					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	通年(前期)			
担当者名	徳永 良枝、久光 明美、河村 靖彦 、甘 麻乃、重村 美帆	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修				
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 充実した教育実習ができるように、幼児教育への理解を深め、教育実習への総論学習を行う。 ・ 教育実習への意義や目的、内容、方法を再確認し、実習園の実態を踏まえながら実習計画を立案する。 ・ 実習に必要な技術・技法などの実践的な指導法を、演習を中心として修得する。 ・ 各担当は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談を行い日誌などの提出物から実習を振り返り、教育実習に必要な基礎知識や機能を高め、保育者としての資質向上をめざすための授業を行う。 							
到達目標 ナンバリング (J1402a) 学習した理論を実習による保育現場で実践し、具体化していくための意識を高める。 幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領を学びつつ、保育の専門職としての知識や理論、記述などの基礎を修得する。 実習の目的や意義を明確にし、実習計画や指導案作成を通して幼稚園教育への理解を深める。			成績評価方法 実習評価表 実習日誌など提出物による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 本実習に向けて 諸手続きの理解 実習計画表作成 【予習・復習】実習計画表作成（90分）	授業内レポート グループワーク
2) 2) 教育実習日誌・部分実習指導案の作成 環境の構成、幼児理解、保育者の役割について 【予習・復習】指導案作成に向けての教材研究（120分）	授業内レポート
3) 3) 前期実習の振り返りと本実習に向けて 設定保育中心の活動 指導案作成 【予習・復習】指導案作成に向けての教材研究（120分）	授業内レポート
4) 4) 設定保育の指導案に基づく保育とグループ演習 幼児観・教材観・指導観の理解 環境の構成と教材研究 【予習・復習】模擬保育の振り返りレポート作成 教材研究（120分）	模擬保育演習（互見保育） グループワーク
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として指導案の作成、教材研究などに取り組む。 ・実習事後は振り返りレポートの作成をし、事後指導を経て次の実習準備を行う。 ・遊びについての認識をしっかりとち、様々な文献資料により教材研究を行う。 ・自分の学びを「手遊びリスト」「絵本リスト」にまとめ、実習に活用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり（大学作成の手引書） ・幼稚園教育要領（文部科学省） ・幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省） ・保育小六法 ・適宜配布資料 	教育実習指導

課題に対するフィードバック

観察記録、保育日誌、指導案などをもとに個人面談を行い、振り返り及び助言を行う。

備考

科目名		教育実習指導					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	通年(後期)			
担当者名	徳永 良枝、久光 明美、河村 靖彦 、甘 麻乃、重村 美帆	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修				
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 充実した教育本実習ができるように、これまでの授業を振り返り、実習への総論学習を行う。 ・ 教育実習の意義や目的、内容、方法を再確認し、実習園の実態を踏まえながら実習計画を立案する。 ・ 実習に必要な技術・技法などの実践的な指導法や保育者のあり方を確認する。 ・ 1年生との実習報告会で2年間の学びを自覚し、保育現場への期待を高める。 ・ 各担当は教育現場それぞれの実務経験を活かし、教育実習に必要な基礎的知識や技能を高め、保育者としての資質向上をめざすための授業を行う。 							
到達目標 ナンバリング (J1402a) 学習した理論を、実習による保育現場で実践し具体化していくための意識を高める。 幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領を学びつつ、保育の専門職としての知識や理論、技術等の基礎を修得する。 実習の目的や意義を明確にし、実習計画や指導案作成を通し、幼稚園教育への理解を深める。			成績評価方法 授業内レポート 授業外レポート グループワーク 模擬保育演習				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○		○		○		30
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○		○	○			10
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 教育実習事後指導 本実習振り返りと改善に向けて 【予習・復習】実習振り返りレポート作成（90分）	個人面談
2) 実習報告会 1・2年生合同授業 幼児教育の理解と保育者の役割 【予習・復習】実習報告会レポート作成（90分）	授業外レポート グループワーク
3)	
4)	
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な書類は電子ファイルに記入していくため、Microsoft OfficeのWordとExcelの使い方に慣れておくこと。 ・提出物はGmailを使って提出するため、Gmailの使用可能な環境を整え、使い方に慣れておくこと。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
実習のしおり（大学作成の手引書） 幼稚園教育要領（文部科学省） 保育所保育指針（厚生労働省） 認定こども園教育・保育要領 （内閣府・文部科学省・厚生労働省） 幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省）	教育実習

課題に対するフィードバック

- ・実習事前事後には実習ファイルをもとに面談を行い、疑問などの対応を行う。
- ・提出された課題には、コメントを入れて返却し実習に対する意欲を高める。

備考

科目名		教育実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	4	1年	通年(前期)			
担当者名	久光 明美、近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、廿 麻乃	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修				
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園における様々な活動の中で、幼児や環境との関わりを通して幼稚園教諭になるための体験を積む。 ・ 保育の基礎や幼稚園教諭として求められる基本的な態度や能力を培い、技術を身に付ける。 ・ 重村は保育園現場、河村は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談を行い、日誌などの提出物から実習を振り返り、実践（保育）に関わる知識や技能を高める。 							
到達目標 J1401ac 幼稚園における人的・物的環境、1日の生活の流れ、幼稚園教諭の役割、幼児の発達特性等、観察およびその記録を通して具体的に理解する。 大学で学んだ専門的な知識・理論・技術等を幼児との関わりを通して実践し、学級担任の補助的な役割を担うと共に具体的な援助のあり方を修得する。 幼稚園の教育課程や指導計画を理解し、指導案作成や環境の構成など実施に至るまでの実際について学ぶ。			成績評価方法 実習評価表 実習日誌など提出物による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○					10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
<p>1年前期 5日間（付属幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の1日の流れを把握し、教諭の活動内容を観察する。（観察実習） 2. 幼児の遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。（観察実習） 3. 教諭と幼児の関わり方などを観察し、保育に補助的に参加する。（観察実習） 4. 事前学習した教育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。（観察実習） 5. 幼児の実態を踏まえ、読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を实践する。（部分実習） <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年前期 5日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園の生活に主体的に参加し、1日の流れを理解する。 2. 観察や関わりを通して、幼児の遊びや生活の実態を理解する。 3. 幼児とのふれあいを通して、保育者の援助のあり方を学ぶ。 4. 望ましい環境整備、教材の準備など、保育者（教諭）の役割を学ぶ。 5. 幼児の実態を踏まえて部分実習の指導計画を立案し、保育を实践し、指導担当教諭から指導を受ける。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年後期 10日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1日の生活の中で、日常繰り返す活動に積極的に参加する。 2. 配属された各年齢児の発達の特徴を把握する。 3. クラス全体を把握しながら個別的な関わりをもつ。 4. 教諭の指導案に基づいた保育に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助のあり方を習得する。 5. そのクラスの保育を展開するためにふさわしい環境の構成を行う。 6. クラス指導計画を整理し、1日の指導案を作成し、实践する。 7. これまで学んできた理論と実習での実践を関連づけながら、自己の保育観や倫理観を高める。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究 ・実習計画に基づいた実践
授業外学習		
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として指導案の作成、教材研究などに取り組む。 ・実習事後は振り返りレポートの作成をし、事後指導を経て次の実習準備を行う。 ・遊びについての認識をしっかりと持ち、様々な文献資料により教材研究を行う。 ・自分の学びを「手遊びリスト」「絵本リスト」にまとめ、実習に活用する。 		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり（大学作成の手引書） ・幼稚園教育要領（文部科学省） ・幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省） ・保育小六法 ・適宜配布資料 		教育実習指導

課題に対するフィードバック

観察記録、保育日誌、指導案などをもとに個人面談を行い、振り返り及び助言を行う。

備考

科目名		教育実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	4	1年	通年(後期)			
担当者名	久光 明美、近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、廿 麻乃	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修				
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園における様々な活動の中で、幼児や環境との関わりを通して幼稚園教諭になるための体験を積む。 ・ 保育の基礎や幼稚園教諭として求められる基本的な態度や能力を培い、技術を身に付ける。 ・ 重村は保育園現場、河村は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談を行い、日誌などの提出物から実習を振り返り、実践（保育）に関わる知識や技能を高める。 							
到達目標 J1401ac 幼稚園における人的・物的環境、1日の生活の流れ、幼稚園教諭の役割、幼児の発達特性等、観察およびその記録を通して具体的に理解する。 大学で学んだ専門的な知識・理論・技術等を幼児との関わりを通して実践し、学級担任の補助的な役割を担うと共に具体的な援助のあり方を修得する。 幼稚園の教育課程や指導計画を理解し、指導案作成や環境の構成など実施に至るまでの実際について学ぶ。			成績評価方法 実習評価表 実習日誌など提出物による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○					10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1年前期 5日間（付属幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の1日の流れを把握し、教諭の活動内容を観察する。（観察実習） 2. 幼児の遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。（観察実習） 3. 教諭と幼児の関わり方などを観察し、保育に補助的に参加する。（観察実習） 4. 事前学習した教育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。（観察実習） 5. 幼児の実態を踏まえ、読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を実践する。（部分実習） <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年前期 5日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園の生活に主体的に参加し、1日の流れを理解する。 2. 観察や関わりを通して、幼児の遊びや生活の実態を理解する。 3. 幼児とのふれあいを通して、保育者の援助のあり方を学ぶ。 4. 望ましい環境整備、教材の準備など、保育者（教諭）の役割を学ぶ。 5. 幼児の実態を踏まえて部分実習の指導計画を立案し、保育を実践し、指導担当教諭から指導を受ける。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年後期 10日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1日の生活の中で、日常繰り返す活動に積極的に参加する。 2. 配属された各年齢児の発達の特徴を把握する。 3. クラス全体を把握しながら個別的な関わりをもつ。 4. 教諭の指導案に基づいた保育に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助のあり方を習得する。 5. そのクラスの保育を展開するためにふさわしい環境の構成を行う。 6. クラス指導計画を整理し、1日の指導案を作成し、実践する。 7. これまで学んできた理論と実習での実践を関連づけながら、自己の保育観や倫理観を高める。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究 ・実習計画に基づいた実践
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として指導案の作成、教材研究などに取り組む。 ・実習事後は振り返りレポートの作成をし、事後指導を経て次の実習準備を行う。 ・遊びについての認識をしっかりと持ち、様々な文献資料により教材研究を行う。 ・自分の学びを「手遊びリスト」「絵本リスト」にまとめ、実習に活用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり（大学作成の手引書） ・幼稚園教育要領（文部科学省） ・幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省） ・保育小六法 ・適宜配布資料 	教育実習指導

課題に対するフィードバック

観察記録、保育日誌、指導案などをもとに個人面談を行い、振り返り及び助言を行う。

備考

科目名	教育実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	4	2年	通年(前期)
担当者名	久光 明美、近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、廿 麻乃	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修	

授業概要

- ・ 幼稚園における様々な活動の中で、幼児や環境との関わりを通して幼稚園教諭になるための体験を積む。
- ・ 保育の基礎や幼稚園教諭として求められる基本的な態度や能力を培い、技術を身に付ける。
- ・ 重村は保育園現場、河村は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談を行い、日誌などの提出物から実習を振り返り、実践（保育）に関わる知識や技能を高める。

到達目標

J1401ac

幼稚園における人的・物的環境、1日の生活の流れ、幼稚園教諭の役割、幼児の発達特性等、観察およびその記録を通して具体的に理解する。

大学で学んだ専門的な知識・理論・技術等を幼児との関わりを通して実践し、学級担任の補助的な役割を担うと共に具体的な援助のあり方を修得する。

幼稚園の教育課程や指導計画を理解し、指導案作成や環境の構成など実施に至るまでの実際について学ぶ。

成績評価方法

実習評価表

実習日誌など提出物による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○					10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1年前期 5日間（付属幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の1日の流れを把握し、教諭の活動内容を観察する。（観察実習） 2. 幼児の遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。（観察実習） 3. 教諭と幼児の関わり方などを観察し、保育に補助的に参加する。（観察実習） 4. 事前学習した教育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。（観察実習） 5. 幼児の実態を踏まえ、読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を实践する。（部分実習） <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年前期 5日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園の生活に主体的に参加し、1日の流れを理解する。 2. 観察や関わりを通して、幼児の遊びや生活の実態を理解する。 3. 幼児とのふれあいを通して、保育者の援助のあり方を学ぶ。 4. 望ましい環境整備、教材の準備など、保育者（教諭）の役割を学ぶ。 5. 幼児の実態を踏まえて部分実習の指導計画を立案し、保育を实践し、指導担当教諭から指導を受ける。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年後期 10日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1日の生活の中で、日常繰り返す活動に積極的に参加する。 2. 配属された各年齢児の発達の特徴を把握する。 3. クラス全体を把握しながら個別的な関わりをもつ。 4. 教諭の指導案に基づいた保育に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助のあり方を習得する。 5. そのクラスの保育を展開するためにふさわしい環境の構成を行う。 6. クラス指導計画を整理し、1日の指導案を作成し、实践する。 7. これまで学んできた理論と実習での実践を関連づけながら、自己の保育観や倫理観を高める。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究 ・実習計画に基づいた実践
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として指導案の作成、教材研究などに取り組む。 ・実習事後は振り返りレポートの作成をし、事後指導を経て次の実習準備を行う。 ・遊びについての認識をしっかりとち、様々な文献資料により教材研究を行う。 ・自分の学びを「手遊びリスト」「絵本リスト」にまとめ、実習に活用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり（大学作成の手引書） ・幼稚園教育要領（文部科学省） ・幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省） ・保育小六法 ・適宜配布資料 	教育実習指導

課題に対するフィードバック

観察記録、保育日誌、指導案などをもとに個人面談を行い、振り返り及び助言を行う。

備考

科目名		教育実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	4	2年	通年(後期)			
担当者名	久光 明美、近藤 鉄浩、伊藤 一統、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、廿 麻乃	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修				
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園における様々な活動の中で、幼児や環境との関わりを通して幼稚園教諭になるための体験を積む。 ・ 保育の基礎や幼稚園教諭として求められる基本的な態度や能力を培い、技術を身に付ける。 ・ 重村は保育園現場、河村は教育現場それぞれの実務経験を活かし、個人面談を行い、日誌などの提出物から実習を振り返り、実践（保育）に関わる知識や技能を高める。 							
到達目標 J1401ac 幼稚園における人的・物的環境、1日の生活の流れ、幼稚園教諭の役割、幼児の発達特性等、観察およびその記録を通して具体的に理解する。 大学で学んだ専門的な知識・理論・技術等を幼児との関わりを通して実践し、学級担任の補助的な役割を担うと共に具体的な援助のあり方を修得する。 幼稚園の教育課程や指導計画を理解し、指導案作成や環境の構成など実施に至るまでの実際について学ぶ。			成績評価方法 実習評価表 実習日誌など提出物による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○					10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1年前期 5日間（付属幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の1日の流れを把握し、教諭の活動内容を観察する。（観察実習） 2. 幼児の遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。（観察実習） 3. 教諭と幼児の関わり方などを観察し、保育に補助的に参加する。（観察実習） 4. 事前学習した教育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。（観察実習） 5. 幼児の実態を踏まえ、読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの部分実習を实践する。（部分実習） <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年前期 5日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園の生活に主体的に参加し、1日の流れを理解する。 2. 観察や関わりを通して、幼児の遊びや生活の実態を理解する。 3. 幼児とのふれあいを通して、保育者の援助のあり方を学ぶ。 4. 望ましい環境整備、教材の準備など、保育者（教諭）の役割を学ぶ。 5. 幼児の実態を踏まえて部分実習の指導計画を立案し、保育を实践し、指導担当教諭から指導を受ける。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p> <p>2年後期 10日間（外部幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1日の生活の中で、日常繰り返す活動に積極的に参加する。 2. 配属された各年齢児の発達の特徴を把握する。 3. クラス全体を把握しながら個別的な関わりをもつ。 4. 教諭の指導案に基づいた保育に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助のあり方を習得する。 5. そのクラスの保育を展開するためにふさわしい環境の構成を行う。 6. クラス指導計画を整理し、1日の指導案を作成し、実践する。 7. これまで学んできた理論と実習での実践を関連づけながら、自己の保育観や倫理観を高める。 <p>【予習・復習】 実習計画作成（120分）教材研究（120分） 観察記録・保育日誌（毎日120分）・レポート作成（90分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究 ・実習計画に基づいた実践
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として指導案の作成、教材研究などに取り組む。 ・実習事後は振り返りレポートの作成をし、事後指導を経て次の実習準備を行う。 ・遊びについての認識をしっかりと持ち、様々な文献資料により教材研究を行う。 ・自分の学びを「手遊びリスト」「絵本リスト」にまとめ、実習に活用する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり（大学作成の手引書） ・幼稚園教育要領（文部科学省） ・幼稚園教育指導資料 ～ （文部科学省） ・保育小六法 ・適宜配布資料 	教育実習指導

課題に対するフィードバック

観察記録、保育日誌、指導案などをもとに個人面談を行い、振り返り及び助言を行う。

備考

科目名	保育・教職実践演習（幼稚園）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2	2年	後期			
担当者名	伊藤 一統、近藤 鉄浩、河村 靖彦、原井 輝明、弘中 陽子、重村 美帆、久光 明美、廿 麻乃		関連する資格				
授業概要 2年間で学んだ幼児教育の専門的知識と教育・保育所実習で得られた幼児理解や保育指導力の実践の統合を図り、グループワークや模擬保育、フィールドワーク等を通じて保育観及び教育観の確立、社会性やコミュニケーション能力の向上、さらに、幼児とその保護者の理解、保育内容の指導力と表現力を有する保育者としての資質を身に付けることを目的とする。							
到達目標 J4401ab 幼稚園教諭及び保育士としての保育教育観を述べ、自身の課題認識することが出来る。 社会性やコミュニケーション能力を高め、同僚・保護者・地域住民等に対応する力を磨く。 幼児や保護者、同僚などの他者を理解し、学級経営や保育の職務に資する力を高める。 保育内容の指導力と表現力を高める。 また、子ども一人ひとりの発達ニーズを理解し、保育内容を構築することができる。			成績評価方法 課題提出（70%）、演習・諸活動の取組（30%）をあわせて総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							30
演習							20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 第 1 回 オリエンテーション：保育・教職実践演習（幼稚園）の目的について【予習・復習】シラバスを確認し、ノートの作成等、受講に必要なと思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。	
2) 第 2 回 保育者の資質について考える【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもつ グループ討議で接すること。GW の内容を振り返ること。	
3) 第 3 回 自己の課題について考える【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもつ 履修カルテの振り返りて接すること。講義時間の内容を振り返ること。	
4) 第 4 回 保育者の責務と倫理（保育者の役割、職務内容、子どもに対する責任について）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中の内容について振り返ってみること。	
5) 第 5 回 保育者の職務と能力（保育現場から求められる基礎的汎用的能力や職務内容、保護者への接し方について）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中の内容について振り返ってみること。	
6) 第 6 回 保育実践の技術(1)（子どもの発達・状況に応じた教材研究と指導計画）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	指導案の作成 グループワーク
7) 第 7 回 保育実践の技術(2)（健康で安全な生活を作りだす力を育むための保育技術）【予習・復習】RP に対する準備を行うこと。RP と GW について振り返り グループワークしてみる。	ロールプレイング
8) 第 8 回 保育実践の技術(3)（人と関わる力を育むための保育技術）【予習・復習】RP に対する準備を行うこと。RP と GW について振り返ってみること。	ロールプレイング グループワーク
9) 第 9 回 保育実践の技術(4)（言葉に対する感覚や表現する力を育むための保育技術）【予習・復習】RP に対する準備を行うこと。RP と GW について振り返ってみること。	ロールプレイング グループワーク
10) 第 10 回 保育実践の技術(5)（身近な環境と関わる力を育むための保育技術）【予習・復習】RP に対する準備を行うこと。RP と GW について振り返ってみること。	ロールプレイング グループワーク
11) 第 11 回 現代保育の在り方について(1)（子育て支援ニーズの実際と対応）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
12) 第 12 回 現代保育の在り方について(2)（小学校教育の実際と幼保小連携）【予習・復習】観察対象について事前学習を行うこと。観察の結果について振り返ってみること。	参与観察
13) 第 13 回 現代保育の在り方について(3)（小学校教育の実際と幼保小連携）【予習・復習】観察対象について事前学習を行うこと。観察の結果について振り返ってみること。	参与観察
14) 第 14 回 組織としての保育について（学級経営、職務分掌等の実際）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	グループ討議
15) 15 回 まとめ（自身の学習を振り返り、課題を認識する）【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	自己ワーク
授業外学習	
0	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「幼稚園教育要領解説」、「保育所保育指針解説書」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」、「小学校学習指導要領解説 総則編」、「保育福祉小六法」 みらい	教育実習、保育所実習、教育・保育職研究、教育実習指導、保育所実習指導

課題に対するフィードバック

提出物に関しては講義中にピックアップしてコメントする

備考

講義内容については、都合により前後・変更することがある。